

付託議案

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經濟支辨ノ爲公債發行ニ關スル臨時利得稅法案(政府提出)
日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)
國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)
造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)
東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)
日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)
朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)
臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

第六十七回帝國議會 衆議院 昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄(速記)第十二回

會議

昭和九年二月十九日(火曜日)午前十時四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事松村 光三君 理事上田 孝吉君

理事岡田喜久治君 理事中村 繼男君

廣瀬 爲久君

小笠原三九郎君

太田 正孝君

森田 福市君

松田 正一君

小川郷太郎君

中島彌團次君

山田 又司君

大口 喜六君

大山斐瑳磨君

田中 貢君

前田房之助君

矢野庄太郎君

龜井貫一郎君

同日委員山本厚三君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ田中貢君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 岡田 啓介君

大藏大臣 高橋 是清君

陸軍大臣 林 銑十郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏參與官 豐田 收君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏省銀行局長 荒井誠一郎君

大藏書記官 大矢半次郎君

陸軍主計總監 平手勘次郎君

陸軍一等主計正 大城戸仁輔君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

○岡田委員長 會議ヲ開キマス、陸軍大臣ヨリ昨日ノ龜井君ノ御質問ニ對シテ答辯ガアリマス——陸軍大臣

○林國務大臣 昨日龜井君ノ御質問ノ軍需工業ノ統制ト軍需工業勞働統制竝ニ軍需品價格ノ統制ト云フコトニ付キマシテ御答致シマス、軍需工業ノ目的ト致シマシテ平戰兩時ニ於テ軍需品ノ需要ヲ充足シマスト共ニ、併セテ經濟的ナル生産ヲ爲スト云フコトヲ考ヘマシテ、今日陸軍ノ軍需品トシマシテハ官業ト民業、此兩者ニ依ル生産ヲ以テ其需要ヲ充足シテ居ル譯デアリマス、ソコデ官業ト申シマスノハ造兵廠、千住製絨所、被服廠、糧秣廠、衛生材料廠等デアリマシマス、是等ニ付キマシテハ第一ニ作業上特ニ

秘密ヲ要スル軍需品ノ製造ノ爲ニ、竝ニ戰時急激ニ膨脹シマスル龐大ナル需要ヲ充ス爲ニ必要ナル設備ヲ平時カラ保留シテ置ク、又之ニ必要ナル技術ヲ平素ヨリ養成シ保持シテ置クト云フ爲ニ、平素カラ必要ナル機關ノ職工ヲ持ッテ居ルト云フ必要等ガアルノデアリマシテ、隨テ平素カラ平時或ル一定量ノ作業ヲ終始維持サシテ置クト云フコトガ必要ニナッテ來マスノデ、隨テ官業ノ生産ト云フモノニ一定量ノ軍需品ヲ充テルト云フコトハ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、其外ニ民業ニ委スル生産ト致シマシテハ、絶エズ民間ニ於テ軍需工業ノ技術ノ培養ト云フコトガ必要デアリマス、常ニ軍需品生産ニ必要ナル設備ノ普及ト云フコトガ必要デアリマス、又經濟的ニ其生産ヲ爲サシメテ、有利ナル調達ヲ爲スト云フコトガ必要デ、大體此三點ヲ顧慮シテ指導ヲシテ居ル次第デアリマス、ソコデ實際問題トシマシテ、第一ニ此軍需品ヲ民間ニ調達致シマス場合ニ於キマシテハ、次ノ三點ニ顧慮スルコト、即チ第一ハ大工業ニ依ル軍需品ノ獨占の生産ト云フコトニナッテハ面白クナイ、此獨占の生産ヲ排除スルト云フコト、第二ニハ極力中小工業ヲモ利用致シマシテ、是等ヲシテ生産加工ヲセシメルト

云フコト、第三ニハ大工業ニ註文ヲスル場合ニ於キマシテモ、努メテ下請ノ工場ヲ擴大スルト云フコト、ソレカラ次ニ此生産部門ニ於キマシテハ、成ベク品種毎ニ所謂分業の生産ヲ爲サス、之ニ依ッテ技術ノ熟練或ハ價格ノ低廉ト云フヤウナコトヲ招來スルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ顧慮スルコト、又技術ノ普及ニ付キマシテハ、軍需品ノ生産工場ニ對シテ、所謂軍需品ノ製作ト云フコトニ付テハ、相當ニ指導ヲ要シマスルノデ、所謂俗ニ言フ教育註文、詰リ技術者ヲ派遣ヲ致シマシテ指導教育ヲスルト云フ方法、竝ニ技術監督官ヲ派遣ヲシテ、各生産工業ニ付テ直接ノ指導ヲスルト云フヤウナ事柄ニ依リマシテ、技術ノ普及ヲ圖ル、大體斯ウ云フヤウナ事柄ニ依ッテ軍需工業大體ノ統制ヲ執ッテ居ル次第デアリマス

次ニ軍需工業ノ勞働統制ノ方面ニ付キマシテハ、官業ノ方ハ是ハ自然適正ナル實施ガ出來マスガ、民業ノ方ニナリマスト其趣ヲ異ニシテ居リマスノデ、一概ニハ申述べ難イ所モアリマスルガ、大體民間ノ軍需工業勞働者ニ對シテ執ッテ居リマスル統制ノ内容ヲ申シマスレバ次ノ三項ニ歸スルト考ヘマス第一ハ勞働賃銀ノ點ニ付キマシテ所謂監督官制度ヲ設ケマシテ、之ニ依ッテ軍需品ノ原價ノ調査ヲシ、此原價調査ヲ通ジテ其適否ヲ檢討スル、又勞働賃銀ヲ適正ナラシメルヤウニ指導ヲスル、ソレカラ軍需工業ノ從業員ノ數ノ問題ニ付キマシテハ、各年度ノ註文量ヲ各會社ニ付キマシテ成ベク大ナル波動ナカラシメルコトニ致シマシテ、隨テ其從業員ノ數ノ動搖ヲ防止スル、又成ベク利用ノ工場範圍ヲ擴大シ、廣ク勞働者ニ均霑スルヤウニ著意ヲ致シテ居リマス、第三ニハ生産技術ノ點ニ付キマシテハ試製品ノ註文、又先程申シマシタ教育註文、又民間會社ノ出願ニ依リマシテ、試験検査、或ハ教習、技術監督官制度等ニ依ッテ、軍需會社ノ職員以下ノ勞働者等ニ對シテ、軍需工業ノ技術ノ指導監督、斯ウ云フヤウナ事柄ヲ致シマシテ、一面ニハ技術ノ習得練習ヲ圖ッテ居リマス 大體勞働者統制ニ付キマシテハサウ云フヤウナ方針デヤッテ居リマス

次ニ軍需品ノ價格ノ統制、民間ヨリ調達シマスル兵器、資材類ハ、指名競争契約、又ハ隨意契約ノ形式デ購入ヲシテ居リマスルガ、是ガ購入價格ノ適正ヲ圖ル爲ニ、豫定價格ヲ決定致シマスノニ付キマシテハ、先ヅ購入ノ軍需品ニ對スル嚴密ナル原價ノ

調査ヲ基礎ト致シマシテ、之ニ對スル物價其他ノ事情ヲ斟酌致シマスルト共ニ、一方陸軍ノ官營工場デアリマスル造兵廠等ニ於キマシテ、製造致シマシタモノト同一カ、又ハ類似ノ品物ニ付キマシテハ、其製造原價ヲ標準トシテ價格ノ基礎ト致シテ居リマス、而シテ豫定價格ノ基礎トナルベキ原價ノ調査ニ付キマシテハ、主要軍需品會社ニハソレハ監督官ヲ派遣ヲ致シテ、會社ノ經營ノ内部ニ互テ詳細ナル調査研究ヲ爲サシメテ居リマス、昨日御話ノ如ク、先般川島大將一行ヲシテ、兵器製造補給官衙等ニ付キマシテ檢閲ヲ致サセマシタ、是ハ軍需資材ノ整備ガ能ク軍ノ要求ヲ充足シ、且ツ經濟的ニ實施セラレテ居ルカドウカト云フコトヲ檢査致シ、又爾後ノ資材整備上ノ資料ヲ得ルガ爲ニヤッタモノデアリマシテ、其結果ニ徴シマス、兵器ノ經濟的調辨ニ關シマシテハ、各長官以下ガ熱心ニ努力致シテ居ル跡ヲ認メテ居リマス、又其調辨價格モ大體先程申シマシタ方針ヲ體シマシテ、適當ナ所ニ實施サレテ居ルモノト認メマス、併ナガラ今後技術ノ進歩、工業能力ノ變化、其他各般ノ實情ニ伴ヒマシテ、更ニ之ニ即應スル如ク、適正ナル調辨價格ヲ決定スルコトニ付キマシテハ、一層ノ努力ヲ

致シタイ考デアリマス、此處デ一寸附言ヲ致シテ置キマスガ、昨日ノ陸軍關係ノ軍需品製造會社ノ利益率ノコトデ、軍需品製造會社三十八ニ對シマシテ、昭和九年度ノ上半期ノ利益率一割三分七厘ト云フ數字ガ出テ居リマシタガ、是等ノ軍需品會社ノ中デ數箇ノ會社ヲ除キマシテハ、軍需品ノ註文場ナルモノハ同會社ノ生産上ノ五〇%以下ノモノデアリマシテ、此利益ノ一割三分七厘ナル數字ハ、必シモ軍需品ノ製造ノミカラ受ケルモノデハナイト云フコトヲ附言致シテ置キマス
ソレカラ次ハ工場監督官ノ制度ニ付テ一言致シマスガ、先程來申シマシタ工場監督官ハ軍需品ヲ民間工場ニ製造セシメ、又ハ購入スル場合ニ軍需品ノ製造研究、工場ノ設備、又祕密保持、及經理ニ關スル監督並ニ製造原價ノ調査、又ハ購入品ノ檢査、或ハ下請工場ノ調査ト云フヤウナコトヲ爲サシメル爲ニ、設ケテ居ル次第デアリマス、此工場監督官ノ設定ト云フコトニ付キマシテハ、只今マデノ所法律的ノ制定ハナイノデアリマシテ、其方ガ結構ト考ヘマスガ、現在ノ所デハ供給者トノ契約ニ依ッテ實行ヲ致シテ居ル次第デアリマス、之ヲ以テ御答ト致シマス

○龜井委員 陸軍ノ軍需工業ニ對シマスル御所見ノ大體ヲ拜承スルコトガ出來タコトヲ欣ブ者デアリマス、ソレニ付キマシテ、モウ一點御考慮ヲ願ヒタイと思ッテ御同致シマスコトハ、昨日ノ松村君ノ御尋ハ斯ウ云フ意味デアッタと思ヒマス、即チ軍需品ノ調辨價格ノ單價ガ、會社ノ利益率カラ見ルト高クハナイカト云フ點ガ一點、然ルニ更ニ松村君ハ商工省統計ヲ利用セラレマシテ、軍需工業景氣デアルニ拘ラズ、勞働者ノ定額賃銀及實收賃銀ガ減少シテ居ルコトヲ指摘セラレテ居ルデアリマス、只今ノ御答辯ニ依リマシテ、陸軍ガ極メテ原價ヲ嚴密ニ算定サレ、適正ナル調辨價格ヲ求メツ、アラレルト云フコトニ對シテハ、諒承スルコトガ出來タノデアリマス、サウスルト商工省統計ニ基キマス、所謂今日ノ景氣政策トシテノ軍需「インフレ」ガ、勞働者ニ均霑シテ居ナイト云フ事實ハ、之ヲ何ニ求メナケレバナライナカ、斯ウ考ヘマス、ソレハ何レ私ノ質問ノ順序ガ參リマシタ時ニモウ一度御尋シタイと思ヒマスガ、ソレニ對シテモ御回答ヲ御考慮ヒタイと思ヒマス、ソレハ主トシテ軍需工業ニ於キマス勞働時間ノ問題ト、ソレカラ臨時工ノ問題デアルト思ヒマス、詰リ勞働賃銀ハ景氣

ガ好クナレバ高マラナケレバナライノデアリマスガ、松村君御指摘ノ如ク、高マッテ居ラスト云フコトハ、即チ他ノ商工省統計ニ依ル所ノ……(松村委員)私ノ出シテ居ルノハ内閣統計デス「ト呼フ」松村君カラ御注意ガゴザイマシタカラ言葉ヲ變ヘマスガ、松村君ノハ内閣ノ統計デアリマスガ、内閣ノ統計ノ基礎ハ商工省ノ工場統計速報デアリマス、ソレデ商工省ト申上ゲタノデ、同ジモノデアリマス、他ノ詰リ失業者減少率——失業率ハ増加シテ居リマス、即チ景氣ト云フモノガ、失業者ヲ吸收シタ事實ハ茲ニ認メラレルノデアリマスガ、一般物價ノ趨向及會社ノ利潤率ニ伴ヒマシテ、勞働者ノ定額及實收賃銀ガ殖エテ居ラヌコトハ、松村君御所説ノ通りデアリマス、サウスルトソコニ矢張多少ノ喰違ヒガアルノデアリマシテ、此問題ハ結局勞働時間ガ此景氣ニ伴ヒマシテ非常ニ強化セラレテ居ルト云フ事實カラ、此喰違ヒガ出發シテ來ルト考ヘテ居リマス、五十人以下ヲ使ヒマスル中小工業ノ工場ニ於キマシテハ、工場法違反ノ數ガ極メテ果増シテ居ルコトハ、昨今内務省ノ統計ノ示ス所デゴザイマスガ、軍需工業ノ關係ニ於キマシテ、尙ホ現内閣ノ高橋大藏大臣ノ政策——人ノ働キヲ高クシ、購

買力ヲ高クスルト云フコトガ、労働時間ノ問題デ、労働時間ヲ限定シナイデ長ク働カセル結果ガ斯ウナッテ居ルト云フ點、労働時間ヲ長クスル結果ト云フモノハ、労働者ノ質、労働技術ノ能率ニ害ノアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、固ヨリ労働者トシテハ割合長ク働イテ、請負賃銀ガ受持タレルコトヲ喜ブ傾向モアリマスガ、國策トシテハ斯ル事ハイケナイノデハナイカト思ヒマス、尙ホ他ノ方面ニ付キマシテハ、私

シタ事柄ニ付キマシテハ、労働時間トカ、或ハ臨時職工トカ云フコトニ付キマシテモ、相當ナ監督ヲ致シテ居ルコト、私ハ信ジテ居リマスガ、尙ホ實際ノ状態ハ調査ヲシマシテ、次ノ機會ニ詳シク申上ゲマス

○龜井委員 關聯事項ハ是デ終リマス

○松村委員 私モ、軍部大臣ニ對スル質疑ハ保留致シテ、此程度ニ止メタイト思ヒマスガ、只今ノ御答申三ツノ點ニ付テ、軍部

大臣ニ希望ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス

第一ハ監督官制度ニ關聯致シマシテ、三

ツノ要項ヲ擧ゲラレマシタ、洵ニ結構デアリマス、唯、中小工業ノ利用ト下請工場ノ擴大ト云フコトヲ、モット如實ニ厲行シテ貰ヒタイ、ト云フノハ、地方ニハ可ナリ分散シテ居ル鐵工場其他ガアリマスガ、軍部ハ今日非常ナ機關ヲ有ッテ居ルノデアアルガ、

商工省ハ十年度ニ於テ僅ニ三萬圓バカリシカ農村工業化ノ費用ガナイ、農林省モ僅ニ二十萬圓バカリノ費用デアアルカラ、今日農林省、商工省ノ力ヲ以テシテハ、農村工業化ハ、極端ニ申シマスレバ不可能ト云フ程度ノ、極メテ輕微ナル經費ト、極メテ輕微ナル力シカナイノデアリマス、軍部ハ軍需品ノ自衛上、全國ニ色々ノ機關ガアルノデアリマスカラ、是等ノ各種ノ機關ヲ利用シ

テ、全國ニ於ケル是等下請工場ノ可能ナルモノニ對シテ、徹底的ナル調査ヲ願ヒタイ、私共モ時々陸軍省ニ向ッテ、此方面ノ調査ト云フコトヲ部分的ニ願ッテ居ルコトガアルケレドモ、ドウカ全國一般ニ互リ、此種ノ下請工場トナリ得ルモノニ對スル徹底的ノ調査ヲ進メテ置イテ貰ヒタイ、一ツノ工場中間ニ合ハナクテモ——今下請工場ノ擴大ト申シマシタガ、下請工場ノ更ニ其下請工場マデ擴大致シマスナラバ、私ハ部分品ノ製作ハ、可ナリ普及スルモノデハナイカト確信致シテ居ル故ニ、陸軍ノ立場カラ言ウテモ、此種ノ下請、更ニ其下請工場ノ部分品ノ製作ハ、即チ農村工業化、地方工業化ノ要諦デアリマスカラ、農林省、商工省ノ今日ノ微力ナル程度ニ満足セズシテ、陸軍省自ラ進シデ此種ノ調査ヲ御願致シマス、是ガ第一デアリマス

請、又其下請工場ノ労働賃銀ニ付テハ、斯ル「スウィーテング」制度ニ陥ラザルヤウニ特ニ御留意ヲ願ヒタイ

第三ハ昨日ノ私ノ問ニ對スル御答ノ中ニ、軍需工業會社ハ大體五割位他ノ物モ拵ヘルノデアアルカラ、軍需品ノミニ依ッテ特ニ利益ヲ屬大ニ取ッテ居ルトノミ推定サレヌト云フ御話ガアリマシタ、是ハ議論ノ末ニ互リマスカラ詳シク申シマセヌガ、苟クモ其會社ハ五割ノ軍需品ヲ拵ヘテ居ルノデアアルカラ、是等ノ會社ニ對シ、十分ナル監督權ヲ行使シテ貰ヒタイ、尙ホ茲ニ大藏省ト關聯シテ願フコトハ、確ニ昨日申シマシタ通りニ、陸軍ハ一割三分何厘、海軍ノ工場ハ一割八分八厘、特殊ノモノヲ擧ゲマスレバ、二割、三割ト云フヤウナ利益ヲ擧ゲテ居ル軍需工業會社ノアルコトハ事實デアリマス、故ニ特ニ考慮ヲ願ハナケレバナラヌコトハ、軍需品ノ註文ニ當ッテハ、十分ナル監督ヲ願フト同時ニ、軍需會社ハ特殊ノ性質アルガ故ニ、是等軍需會社ハ、出來得ル限り機械ノ銷却ヲ速カナラシメ、他日ノ變ニ備ヘルト云フヤウナ特別ノ必要モアリマスガ故ニ、是等ノ軍需會社ノ配當ヲ制限スルト云フコトハ、勿論陸軍大臣ガ此間聲明ノ通りニ宜シクナイコトデアリマスガ、

紹介所、所謂人夫供給者ニ頭ヲ刎ネラレテ居ル軍需工業ノ實例ガアルノデアリマスカラ、是等ニ對スル對策ニ付キマシテモ、監督官ノ篤ト御配慮ヲ煩シタイノデゴザイマス、之ニ對シマシテ、只今デナクトモ結構デゴザイマスカラ、軍ノ是等ニ對スル御所見ヲ伺ッテ置キマスコトハ、本案審議上極メテ便ナリト考ヘル次第デアリマス

○林國務大臣 只今最後ニ御要求ニナリマ

ス

ス

銷却其他ノ點ニ付キマシテハ、特ニ從來ノ如キ大藏省ノ杓子定規ニ依ラズシテ、是等ノ軍需工業會社ノ銷却ヲ速カナラシメ、他日ノ變ニ備フルト云フヤウナ準備ヲ十分致サセル爲ニハ、大藏省トモ交渉シテ、是等軍需會社ノ銷却ハ、特ニ或種ノ緩和策ヲ講ズルト云フコトガ、私ハ是等ノ會社ノ爲ニモ、亦軍將來ノ爲ニモ必要ナコト、思ヒマス、此點ハ陸軍當局竝ニ大藏當局ニ豫メ希望シテ、大體陸軍大臣ニ對スル質疑ハ一應此程度ニ打切ッテ置キマス

○岡田委員長 松村君、アナタハ總理大臣、大藏大臣ニハモウ宜イノデスカ

○松村委員 今陸軍大臣ガ答ヘラレルヤウデスカラ——御答ガナクテモ宜シウゴザイマスガ……

○岡田委員長 御答ガゴザイマスカ

○林國務大臣 只今御話ノ三點ニ付キマシテハ注意ヲ致シマスト共ニ、尙ホ能ク研究致シマス

○松村委員 私ハ大藏大臣ト總理大臣ノ共ニ御列席ノ上デ、今ノ質疑ヲハッキリサセタイト考ヘテ居リマス、ソレデ御二方御列席マデ私ノ質疑ハ保留致シマシテ、此程度ニ一應止メテ置キタイト思ヒマス

○岡田委員長 承知シマシタ——此場合材

料ノ要求ヲ政府ニ致シマス、是マデ各委員ヨリ色々材料ヲ要求ニナッテ居リマスルガ、其中今日マデ御提出ニナッテ居ラヌモノガアリマス、今之ヲ表ニシテ速記ニ留メテ置キマス、政府ニモ之ヲ差上ゲマスカラ、之ヲ各省ソレソレ御研究ノ上、明日ノ委員會ニ、之ヲドウ始末サレマスカ御返事ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデハ今日ハ政府委員ガ居リマセスカラ、是デ休憩致シマシテ、午後一時半ヨリ再開致シマス

午前十一時二十分休憩

午後一時五十分開議

○岡田委員長 是ヨリ開會致シマス——松村君

○松村委員 幸ヒ總理藏相御連席デアリマスルガ故ニ申シマスガ、私ハ此臨時利得稅ニ關シマシテ、可ナリ長イ時間ニ亙リ、又問題ノ性質上勢ヒ數字ノ細目ニ付テモ質疑應答ヲ重ネマシテ、茲ニ本稅ノ本體ヲ稍、明ニスルコトガ出來タノデアリマス、即チ本案提出ノ趣旨目的ガ不徹底デアリ、稅制殊ニ所得稅體系ノ本質ヲ破壊スルモノデアリ、財政上許スベカラザル所ノモノデアリマス、其内容ノ缺陷ヲ如實ニ暴露シテ居リ

マス、其一ハ負擔公平ノ原則ニ悖ッテ、新時代ノ要求ニ依ッテ興ラントスル新設會社ニ苛斂誅求ノ重稅トナリマス、而モ軍需景氣、貿易景氣ニ課稅セントスル考ガ、却テ一般産業ヲ不安ニ陷ル、ノ結果ヲ惹起シマシテ、所謂角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノ類ニ陷ルノデアリマス、其二ハ超過所得稅トノ重複課稅、法人相互ノ間ノ株式配當ニ對スル重複課稅、更ニ個人ノ營業收益ニ關スル課稅技術ノ困難ナル爲ニ、勢ヒ重複ニ失スル虞ガアルノデアリマス、其三ハ昭和五六年ヲ基準トシテ、而モ其控除基準ガ七分デアル爲メ、曩ノ戰時利得稅ト比較致シマシテ、又事業界ノ實情ニ照シマシテ、甚シク不合理デアリマス、其結果トシテ收稅ノ見込額ガ政府ハ三四千萬圓ヲ豫定シテ居リマスガ、遙ニ之ニ過グル額、蓋シ其倍額六七千萬圓ニ達スルモノデアラウコトヲ、數字上ノ根據ヲ舉ゲテ質シマシタガ、政府當局ノ答辯ハ、右顧左盼デ要領ヲ得マセヌ、所謂藤井健全財政ノ犠牲ノ下ニ俄ニ作ラレタル本案ガ、却テ財界殊ニ一般產業界ニ不健全ナル結果ヲ誘致スル虞ガアリマス、轉ジテ軍部大臣ハ、軍需會社ノ收益率ノ殊ニ増大ナルコトヲ明ニ認メラレマシタ、サウシテ是ガ將來ノ是正ト、軍需品註文方法ノ更新ニ付

テモ約束サレタノデアリマス、併ナガラ軍需品註文ハ一般民衆、殊ニ農村地方ニハ滲透シマセヌ、勞働者ニモ及ブ所ガ少イト云フコトヲ、或ル程度マデ正直ニ告白サレマシテ、將來ノ努力ヲ誓ハレマシタ、農林大臣ハ、大藏大臣ト多少所見ヲ異ニシテ農村近時ノ窮迫ノ甚シキコトヲ正直ニ告白サレテ、其根本對策ヲ促進ヲ誓ハレテ居リマス、私ハ茲ニ最後ノ質問ヲ致シマス、此利得稅ハ時局ノ跛行的景氣ニ鑑ミテ、政治的ノ眼目カラ缺點ガ多イニモ拘ラズ、敢テ本稅ヲ提出シタト言ハレテ居リマス、而モ農村救済ノ費用ヲ極度ニ切詰メ、勞働者其他ノ社會政策的ノ施設ニ何等ノ見ルベキモノナク、其ノ總テヲ舉ゲテ軍事偏重豫算ノ補充ニ充テ、居ルノハ果シテ如何ナモノカ、軍事偏重豫算ハ軍需景氣ヲ生ム、軍需景氣ヲ更ニ課稅スル、課稅シタモノヲ舉ゲテ悉ク軍事費ノ補充ニ充ツルト云フコトハ、所謂空廻リ、鹽廻シノ財政デアリマス、又收稅ノ見込三四千萬圓ヲ超過スルノ事情ヲ指摘致シマスト、大藏大臣ハ其餘分ハ之ヲ悉ク赤字公債ノ減少ニ向ケルト言ハレテ居リマス、曩ニ大藏大臣ニ向ッテ、現在五分利公債ノ借換ガ現下ノ急務デアリ、又其可能ナル一般ガ是認シテ居ルノデアアルカ

ラ、其斷行ヲ伺フタノデアルガ、是ハ暫ク出來ナイト言ハレテ居リマス、是レ金融資本家ニ迎合ノ虞ナキニシモアラズデアリマス、今又此利得稅ノ剩餘ヲ擧ゲテ公債ノ減少ニ向ケラレト云フコトデアラナラバ、重ネテ金融資本家迎合ノ譏リナキニシモアラズ、甚ダ遺憾ニ感ズルノデアリマス、私ハ現狀ヲ以テ致シマシテハ、此儘本案ニ贊成出來兼ヌルノデアリマシテ、政府ハ本案ヲ撤回スルカ、産業ノ振興ヲ阻害セザル程度ニ本案ノ内容ヲ是正スルカ、或ハ此因ッテ生ズル所ノ稅收入ヲ他ノ適當ナル施設ニ振向ケルカ、是等ノ點ニ關シテ更ニモウ一度總理大臣竝ニ大藏大臣、現内閣ニ對シテ一層深甚ナル考慮ヲ煩シ度イ、之ヲ以テ大體私ノ質疑ヲ終ッテ置キマス

○松田委員 簡單ニ大藏大臣ニ御伺致シタインデアリマス、赤字公債ヲ發行致シマスコトニ付テハ、別段ノ考モ有ッテ居ラヌノデアリマス、唯他ノ委員カラモ軍部兩大臣ニ質問ヲ致シマシタガ、軍事實ノ額ノ如キ、マダ暫クハ減額スルト云フ見透ガ付カヌ、サウ致シマスルト現在ノ財政上カラ考ヘテ見マスレバ、矢張赤字公債ト云フモノハ本年度以降ニ於キマシテモ、幾ラカ出シテ行カナケレバナラヌ、其點ニ付テ消化ガドウ云

フヤウニ出來ル見込デアルカ、是ガ消化ガ出來得ルナラバ、吾々ト雖モ赤字公債ト云フモノ、出ルコトニ、別ニ異存ハ有ッテ居ラヌノデアリマス、是ハ主トシテ金融業者トノ關係ヲ、重ク見ナケレバナラヌモノデアラウト思ヒマス、赤字公債發行ト金融業者ノ關係ニ付テ、大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス、日本銀行ガ昨年昭和九年中ニ公債ヲ引受ケタ額ハ、七億百萬圓アルト云フコトヲ承ッテ居リマス、ソレト其引受ケタ公債ヲ賣却致シタノハ、同ジ昭和九年中ニ九億二千八百萬圓バカリ賣ッテ居ル、其差ガ二億二千七百萬圓バカリ賣過ギニナッテ居ル、是ハ昨年度ハマダ一昨年度ニ比シテ少イノデアリマセウガ、此資金ト云フモノハ何處カラ廻ルカト云フト、矢張一般國民カラノ餘ッテ遊金ガ、矢張斯ウ云フ公債ヲ買求メルト云フコトニナッテ居ルノデアアル、ソレデ大藏大臣ヨリモ本會議ニ於キマシテ御意見ノアツタ如ク、預金ハ殖エテ居ル、成程此預金ガ殖エテ行カナケレバ、赤字公債ノ發行ノ上ニ、全部トハ申シマセヌガ、幾ラカハ影響スベキモノダト思フノデアリマス、日本銀行ノ調ニ依リマスルト、昭和九年中ノ一般銀行ノ預金ガ百二十五億三千九百萬圓バカリニナッテ居リマ

ス、之ヲ私ハ主トシテ普通銀行ニ重キヲ置イテ考ヘテ見タノデス、此百二十五億三千九百萬圓ノ預金ノ中、普通銀行ノ預金ハ九十三億五千三百萬圓バカリ——大部分ヲ占メテ居ル、此普通銀行ノ預金ハ昨年ノ末カラ考ヘテ見マス、六億二千六百萬圓バカリ殖エテ居ル、而シテ一方ニハ貸付金ガ減ッテ居リマス、此貸付金ハ昭和三年頃カラ考ヘテ見マス、四割バカリ減ッテ居リマス、サウスルト預金ガ殖エテ貸付金ガ減ジテ來タト云フコトニナル、其差ガ所謂遊金トナッデ金融業者ガ此遊金ノ處理ニ困ッテ、其困ル結果已ムヲ得ナイカラト云フノデ、此赤字公債ヲ買フト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト、此預金ノ増加ト云フコトハ、赤字公債ガ本年ノミナラズ、明年度モ矢張發行シナケレバナラヌモノト見透シマスレバ、預金モ矢張昭和九年度位ヅ、ハ殖エテ行カナケレバナラヌト云フヤウニ私共ハ考ヘル、此預金ガ本年度以降ニ於キマシテ、大藏大臣ハ矢張斯ノ如ク殖エテ行クト云フ御見込ガ付イテ居ルカドウカト云フコトヲ、簡單ニ御伺致シタイト思フノデアリマス

○高橋國務大臣 將來公債ノ發行ニ付テ之ヲ消化シテ行ク所ノ民間ノ貯蓄ノ勢ト云フ

モノハ、矢張過去ノ如ク預金ガ殖エルト云フ見込デアルカト云フ御尋ノヤウニ思ハレル、今日マデノ情勢ヲ以テ將來ヲ考ヘマスレバ、矢張國民ノ貯蓄ノ力ハ漸次増進シテ行クト思ハレルノデアリマス、但シ國民ガ其貯蓄ノ力ヲ以テ、單リ公債ト云ハズ、株券ナリ、或ハ社債ナリ、總テノ債券ニ投資シテ行ク其總高ト云フモノハ、銀行ノ預金ノ増加トハ伴ハナイ、詰リ御承知ノ通り銀行アタリノ預金ノ昨年ヨリ今年ガ幾ラ殖エタト云フ比較スル數字ト云フモノハ、是ハ其半期ナリ、或ハ一年間ノ殘高ノ比較デアル、所ガ民間ノ貯蓄者ハ假令銀行ヲ潛ッテモ、其潛リ方ガ或ハ當座勘定ト云フヤウナモノニ潛ッテ居ルカ知ラヌケレドモ、殘高ニハ現レズシテ、サウシテ株券ヤ債券ノ方ヘ行ッテ居ルモノガ中々多イノデアアル、ソレデ今ノ處デハ國民ノ貯蓄ノ力ハ、昨年ニ劣ラズ昂進シテ來テ居ル、ソレカラ又今御話ノ銀行ノ貸出ガ減ッテ預金ガ殖エル、是ハ如何ニモ數字ノ上デサウ見エマス、是モ矢張好景氣ノ結果トシテ、銀行ガ今迄回收ノ出來ナイト認メテ居ッタヤウナ其貸金ガ、戻ッテ來タト云フヤウナコトガ中々多イ、隨テ從來固定貸ニナッテ居ッタ、凝結シテ居タ貸金ガ、ソレガ生キ還ッテ戻ッテ來タト云フノ

デアルカラ、銀行ノ力ヲソレダケ殖シテ貸金ガ減ッタル云フ勘定ニナル、ソレダカラ此頃新ナル者ニ銀行ガ貸出ハドウカ、斯ウ云フコトヲ調べテ見マス云フト、矢張財界ノ好景氣ニ連レテ新規ノ商工業ノ融通資金ト云フモノハ増加シテ居ル、先ヅサウ云フコトカラ考ヘルト、十年度ノ豫算ニ計上シタ公債ガ消化サレナイト云フヤウナ結果ニハナルマイト萬々信ジテ居リマス

○松田委員 社債ノ細カイ所ニ付テノ御答辯ハ、銀行局長ノ方カラ承リタイト思ヒマスノデ、銀行局長ノ御出ヲ願ッテ置キマス、其間ニ大藏大臣ニ付テ質問ヲ續ケマス、昨年未ノ預金ノ高ガ本年ヘ入ッデカラ、急ニ二億何千萬減ッテ居ルノデゴザイマス、是ハドウ云フ譯デ減ッタル私共ニハ分リマセヌ、大藏大臣ノ方デドウ云フ譯デ減ッタルカト云フ御考ガアリマスレバ一寸伺ヒタイ

○高橋國務大臣 ソレハ私モマダ調べテ居リマセヌ
○岡田委員長 ドナタカ御答ガアリマスレバ願ヒタイ
○青木政府委員 御答致シマス、只今此民間預金ノ一月ニ於テノ減少ノ理由ニ付テ御尋デゴザイマシタガ、私ノ方デハッキリト申上ガ兼ネルノデゴザイマス、是ハドウモ季

節的關係ト見エマシテ、八年ニ於キマシテモ一月ニ於キマシテハ、前月末ニ比較シマシテ一億二千九百餘萬圓減ジテ居リマス、九年ニ於キマシテモ其前月末ニ比較シマシテ、千八百餘萬圓減ジテ居リマス、ドウモ一月ト云フ月ハ減少スル月ノ傾向デハナイクト考ヘテ居リマス

○松田委員 今ノ政府當局ノ御話ノ數字ハ、間違ッテハ居リマセヌカ、ソナ數字デヤアリマセヌ、昨年ヨリ本年ハ二億圓程度減ッテ居ル勘定ニナル、是ハ御分リニナル管デアルト思ヒマス

○青木政府委員 成程御話ノ如ク、程度ハ或ハ從來ノ例ヨリ多イカ知レマセヌガ、特ニ本年ニ何故多イカト云フ特殊ノ理由ハ、チヨット私モ發見シ難イノデアリマスガ、先程申上ゲタ如ク、一月ニ於キマシテハ、銀行預金ノ減少スル傾向ハ是ハ從來ノ例デアリマス

○松田委員 從來ノ例ト申サレマスガ、從來ノ例ハ分ッテ居リマス、昨年ノ所謂年末カラ二月ノ上旬迄ノ預金ノ減ッタル額ト、ソレカラ一昨年ノ年末カラ二月ノ上旬迄ノ此預金ノ減ッタル額、本年ハ一昨年ト昨年トノ比較ヨリ致シマスレバ、九年ト、十年トノ此年越ノ預金ノ減リ方ガ二億圓餘計ニ減ッテ居ルコ

トニナル、是ハ大藏省ノ方デ御分リニナラヌ管ガナイ、ソレガ千萬トカ二千萬トカ云フナラバ、御議論ニハ敬服致シマスガ、二億圓モ餘計ニ減ッテ居ルト云フノニハ、何カ主タル原因ガナケレバ減ッテ居ル管ガナイ、此預金ガ斯ウシテ殖エテ行クト云フコトハ、大藏大臣ノ申サレタ如ク、是ノミガ赤字公債ヲ買ッテ行クノデハナイ、ソレハ承知致シテ居リマス、預金ノ殖エルト云フコトモ赤字公債ノ賣レテ行ク原因ニナル、ソレニ付テ今質問ヲシテ居ルノデアルカラ、其理由ガハッキリ分ラスト私ノ質問ヲ繼續出來ナイ、預金ト赤字公債ノ消化ト云フモノ、比較對照ガ出來マセヌ

○岡田委員長 大藏大臣並ニ政府當局ハ分ラスト云フノデスカラ、ソレデ質問ノ方ヲ進メテ行カレルヨリ仕方ガナイデセウ、特殊ノ理由ガナイト云フ御答辯ノヤウニ思ヒマスガ……
○松田委員 ソレデハ私ハソレデ質問ヲ繼續シテ行キマスガ、御答ガナケレバ申上ゲマスガ、是ハ成程舊正月節季ト云フモノニ際會致シテ居リマスカラ、其關係デ減ッテ居リ、殊ニ本年ハ輸入關係ニ於キマシテ、少シ餘計ニ輸入ガアッタ、ソレト軍需品、ソレト證券投資、是デ減ッテ居ル、ソレ以外ニ本

年目新シイノハ、只今大藏大臣モ御心配ニナッテ居ッタイアリマスガ、滿洲國ニ對スル支拂勘定ガ殖エタト云フヤウナコトニナッテ居ルヤウニ承ッテ居ル、果シテ滿洲國ニ對スル支拂勘定ガ殖エタト云フヤウナ事實ハ、大藏省デハ御認メニナラヌノデスカ、大藏大臣ノ方カラ御答辯ヲ願ヘレバ願ヒタイ

○青木政府委員 特ニ本年ノ一月ニ於テ減少高ガ多イト云フ御尋デゴザイマスガ、一昨年、昨年以來ノ毎月ノ預金ノ増減ヲ見デ居リマス、非常ニ前年ト比ベマシテ、同ジ月ニ於テモ二億圓位ノ出入ハ屢、ゴザイマス、一樣ニ必シモ比例シテハ居リマセヌ、ソレデアリマスカラ、或月ノ趨勢ダケヲ以テ今御話ノ如キ將來ノ大勢ヲトスルト云フヤウナ風ニハ、チヨット參リ兼ルカト思ヒマス、只今滿洲國關係ノ支拂ガ其原因デハナイカト云フ御尋モゴザイマシタガ、成程滿鐵社債等先般募集シタコトモゴザイマスガ、ソレハソナナ大キナ金額デハゴザイマセヌ、其他ニ於キマシテハ、特ニ一月ニ於テ預金ノ減少ノ原因トナルヤウナ支拂ハ一寸私ノ記憶ニハゴザイマセヌノデ、ソレガ大キナ原因デアルトモ考ヘテ居リマセヌ
○松田委員 滿洲國ノ支拂ノ増加ガ大部分

ダトハ申シマセヌ、ケレドモ將來大部分ニナル虞ガアル、此滿洲國ノ支拂ガ殖エテ來レバ、國內ニ於ケル預金ノ増加ト云フモノハ滿洲國ニ吸收サレル、隨テ我國ノ赤字公債ノ必要ガ強クナツテ來レバ、大藏省トシテハ赤字公債ヲ發行サレル責任上、ドウシテ消化サレルカト云フコトヲ考ヘレバ——是ハ御考ニナラナケレバナラヌ筈デアル、自分ハサウ云フ風ニ解釋ヲ致シテ居ル、成程保險會社等ガ證券ヲ買フタ、或ハ米穀證券ヲ買フタ者モアリマスガ、是ハ普通デゴザイマス、年々普通デゴザイマス、異例デヤナイ、本年ニ限り滿洲國ノ方ニ支拂ッタ金ガ多イ、將來是ガ殖エテ行ク、殖エテ行ケバ預金増加ト云フモノハ此方ニ流レテ行ク、サウスルト赤字公債ヲ發行シタラ何處デ消化シテ行クカ、消化ノ上ニ支障ヲ來スト云フコトハ明カデアル、是ガ御分リニナラヌサウデアリマスカラ、次ノ……

○岡田委員長 一寸御待チ下サイ、御答ガアルサウデス

○高橋國務大臣 大體ガ季節的ノ増減ガアルコトハ御承知デ、其意味ニ於テ今政府委員カラ大體ノ御答ヲシタノデアリマスガ、斯ウ云フコトハ能ク統計カラ拾ッテ見ナケレバ分ラヌノデアリマスガ、預金ノ減ツタ

云フ一方ニ於テハ、斯ウ云フコトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、民間ニ於テ新ニ會社ヲ興シタリ、其株ニ應ジタモノガアル、或ハ又社債等ニ應ジタモノ、サウ云フモノガ矢張昨年ノ一月ト、今年ノ一月ト較ベテ見マスト云フト、大分今年ノ方ガ殖エテ居ル、銀行會社計畫ノ資本ノ方カラ行キマシテ四千萬圓カラ一月ハアル、昨年カラ較ベテ見ルト矢張二千七百萬圓以上殖エテ居ルト云フヤウナ茲ニ數字ガ出デ居リマス、斯ウ云フコトヲ細カク調べテ行カヌト云フト、今ノ御質問ニ對シテノハッキリシタ御答ガ出來ナイノデヤナカラウカト察シマス

○松田委員 成程今大藏大臣ノ御言葉ノ數字ハアリマス、私ハソレモ共ニ心配スルノデアリマス、赤字公債發行ニ伴ヒマスル低金利政策ト云フモノハ、是ハ附隨ヲ致シタモノデゴザイマス、ソレデ此低金利政策ヲ強ク繼續シテ行クト云フコトニナルト、公債ヲ買フ、利廻上下ウシテモ社債ヲ買フトカ、新株ニ拂込ヲスルトカ云フヤウナコトニナツテ行キヤセヌカ、サウシマス云フト預金ガ昨年末ニ六億圓、普通銀行ダケデ殖エテ居リマスガ、事實ニ於テ殖エタノデヤナイ、ホンノ一時此處ニ留ッタダケノモノデアッテ、隨テ大藏大臣ガ本會議ニ於キマシ

テ財政演說ノ冒頭ニ申サレマシタ預金ノ増加、預金ノ増加ト云フコトモ、將來ハヤハリ増加々々來ナイダラウ、是ガ増加々々來タトシマスレバ、先程大藏大臣ノ申サレタ如ク、預金ノ増加ダケデ公債ハ賣レテ行クベキモノデヤナイ、ソレハ能ク分ッテ居リマス、分ッテ居リマスケレドモ、兎ニ角預金ガナケレバ何デ公債ヲ消化シテ行クカ、ドノ方面ノ金デ赤字ヲ消化シテ行クカト申シマスレバ、矢張此預金ノ増加ガ必要デアル、ソレデ此預金ノ増加ガ後々、マア十年度ノ赤字ノ消化位ノコトハ是ハ預金モ増加シテ行ッテ、茲ニ附議サレテ居リマス赤字公債ノ消化ハ出來ラデアラウト云フ大藏大臣ノ御話デゴザイマスガ、私ハ單ニ此十年度ノミヲ申シテ居ルノデハアリマセヌ、先程モ軍部兩大臣ガ申サル、如ク、軍事實費ノ金額ノ見透ガ付カヌ、ノミナラズ海軍大臣ノ如キハマダ殖エルト云フコトデアル、サウシマス、ドウシテモ赤字公債ハ年々出シテ行カナケレバナラヌ、ソレニ伴フ消化スベキ預金ガ殖エテ行クト云フコトハ今デモ見透ガ付キマセヌ、減ッテ行キマス、其例ヲ舉ゲテ見マス、是ハ大藏大臣ハ細カイ所ハ御承知デゴザイマスマイカラ、政府當局カラデモ宜シウゴザイマスガ、私主トシテ普通

銀行ノ立場ニナツテ考ヘテ御質問ヲ申上ゲマス、普通銀行ノ利益ハ年々減ッテ來テ居リマス、ト云フノハ今デハ三七厘ノ定期ヲ預ッテ、四分一厘弱ノ公債ヲ買込ンデ居ル、サウシマスト四厘ノ差シカナイ譯デアル、銀行ノ方カラ申シマスレバ、一割三分位ノ「コーズ」ガナケレバ利益ノ配當ガ出來ナイ、ソレカラ今三分七厘ノ定期デアル、甚シキニ至ッテハ定期預金ニ致シタモノヲ、日歩勘定デ借リル時ニ一厘ノ差デ借リテ居ル、サウスルト銀行ハ三七厘デ借リテ、サウシテソレヲ預金者ニ向ッテ一厘ノ鞘デ貸シテ居ル、サウスルト一厘ノ鞘デドウシテ營業上ノ利益ヲ計上シテ行クカト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、殆ド普通銀行ト云フモノハ將來亡ビテ行クヨリ仕方ガナイ、隨テ預金増加ト云フコトハ到底吾々ハ考ヘ及ボセヌモノト見テ居ルノデス、詰リ預金者側カラ申シマシテモ、三七厘預金デ置イテ、税金ヲ差引カレマシタラ三分四厘ニシカナラヌ、ソシナ三分四厘位デ甘ンジテ居ルト云フ所ニ目指シテ金ガ廻ッテ行クカラ、隨テ預金ガ減ッテ行ク、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマスガ、此赤字公債ノ發行ニ連レマシテノ低金利政策ガ、將來ドウ云フ風ニ

シテ繼續シテ行クカト云フト、マダ此低金利ヲ強メテ行クト、斯ウ言ハレル——行クヤウナ傾向ヲ認メルノデアリマス、政府ハ是レ以上ノ低金利政策ヲ續ケテ行クニ付テハ、マダ此低金利政策ヲ強クスル意思ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

○高橋國務大臣 低金利政策ト云フ問題ニ付テ、世間ニハ尙ホ此上モット金利ヲ下ゲルガ宜イデヤナイカ、政府ノ力ヲ以テ下ゲルガ宜イデヤナイカト云フ議論モアル、私ハ他ノ場合ニ於テモ申シタ通り、政府ガ無理ニ金利ヲ安クサセルト云フヤウナ政策ハ今ノ所執ル必要ハナイ、是ハ當業者自ラ考ヘテ、サウシテ必要ガアルト思フ時ニ金利ヲ下ゲル、其低金利ト云フコトハ銀行ノ手許カラ言ヘバ、先ヅ以テ預金ノ利息ヲ下ゲルト云フコトニナル、私ハマダ日本ノ銀行ト云フモノガ、自ラ自分ノ經費ヲ節約スル餘地ガ澤山アルト思フ、今御話ノ通り株主ニ對シテノ配當ガ十分ニ出來ナイ、サウ云フ時ニハ先ヅ以テ自分ノ經費ヲ節約スルト云フコトハ氣ガ付カナケレバナラス、營業費ニ於テモ隨分我國ノ銀行ハ人ノ使ヒ方ト云ヒ、事務ノ執リ方ト云ヒ、割合ニ進歩シテ居ラス、一度決メタコトハモウズツトソレニ慣レテシマツテ、改良進歩ト

云フ考ガ起ラナイ、ソレカラ又預金ノ利息ヲ下ゲルト云フコトハ、是ハ銀行當局者トシテハ最後ノ手段ナケレバナラス、先ヅ以テ自分ノ經營上ノ費用ヲ出來ルダケ節約シテ、然レ後尙ホ是デハ成立タヌ、經費ガ償ハヌト云フヤウナコトニナレバ、初メテソコニ預金利子ト云フモノガ、銀行ノ支出ノ大ナルモノデアルカラ、利子ヲ下ゲルト云フコトニ行キマセウ、ソコニ來ナケレバマダ本當ニ建直ッテ居ラヌト私ハ思フ

○松田委員

大藏大臣ノ御説御尤デゴザイマス、私ハ低金利政策ガ惡イト云フ譯デハナイ、低金利政策ハ結構デゴザイマス、結構デゴザイマスガ、今大藏大臣ノ方カラ折角御話ガアリマシタカラ、一寸例ヲ申上ゲマスルガ、此低金利政策ヲ行ヒ掛ケマシテカラ、普通銀行ト特殊銀行トヲ不公平ニ大藏省ガ監督サレテ居ル事實ガアリマス、ソレハ何故カト申シマス、昨年上半年ノ普通銀行數ハ約四百九十バカリアルヤウニ承ッテ居リマス、其四百九十バカリアル銀行ノ中デ、減配ヲ行ウテ居ルモノガ百十四アリマス、ソレカラ據置ノモノガ三百、無配當ノモノガ五十四行アリマス、一昨年ノ上半年カラ考ヘテ居リマス云フト、減配トカ、或ハ無配當トカ、據置ト云フモノガ三

割三分殖エテ居ル、是デ普通銀行ガ行詰ッテ居ルト云フコトハ、此數ガ事實ニ物語ッテ居ル、唯其他ノ三井、三菱、第一ト云フ大キナ銀行ハ、普通銀行ノ中デモ先ヅ八朱位ハ出サレテ居ル、其他ハモウ少クテ、平均スレバ六分弱デアル、是ハ昨年ノ上半年ノ決算ヲ見タノデアリマス、昨年ノ下半年ノ決算ハマダ見マセヌガ、恐ラク是レ以上ニナッテ居ルダラウト思フ、ソレデ大藏大臣ハ、此配當々々ト云フヨリモ、モウ少シ銀行ガ節約致シテ、無駄ナ金ヲ使ハヌ、サウシテ株主ノ配當ト云フヨリ、モウ少シ堅實ナ營業ヲスルヤウニセヨ、ソレハ洵ニ御説御尤デアリマスルガ、但シ是ハ普通銀行ハ斯ウ云フ風ナ譯デアッテ、一方半官半民ノ銀行、日銀トカ、或ハ正金、勸業ト云フヤウナ銀行、農工銀行デモ東京、大阪、兵庫、三重、廣島、濃飛、鹿兒島、栃木、滋賀、是ハ皆一割ニ致シテ居リマス、其農工銀行ハ一割ノ配當ヲ致シテ、他ノ費用ヲドレダケ使ッテ居ルカ、是ハ地方ニ行ッテ聞イテ見レバ分リマスガ、恐ラク農工銀行等ハ贅澤ヲ致シテ、縣會議員ヲ招待スルトカ、何トカ云フヤウナコトニ莫大ナ金ヲ使ッテ居ル事實ガ隨分アリマス、隨分贅澤ヲ致シテ、サウシテ一割ノ配當ヲ致シテ居リマス、普通銀行

ハ大藏大臣ノ目カラ見ラレマス云フト、マダ節約ノ餘地ガアルト考ヘラレルカモ知レマセヌ、私モ餘地ガアルト考ヘテ居リマスガ、斯ウ云フ半官半民ノ銀行ノ如キト大分趣キヲ異ニシテ居リマス、大藏大臣ハサウ云フ細カイ所マデ御承知デハナイカモ知レマセヌガ、事實ハサウ云フヤウニナッテ居ル、今大藏大臣ガ申サレルノナラバ、何故此半官半民ノ特殊銀行ヲモウ少シ御取締ニナラナイノデゴザイマスカ、此一割ノ配當ヲセラレテ、贅澤ヲ致シテ居ルノヲ大藏省ガ御覽ニナリマシテ、今普通銀行ガ苦シイト言フナラバ、モウ少シ費用ヲ節約セイト云フコトハ、少シ金融業者カラ考ヘマス、ト云フト、不公平ニ考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ大藏大臣ハドウ云フ御考デゴザイマセウカ、私ハ事實ノ例ヲ申上ゲテ今御質問申シタイノデゴザイマス

○高橋國務大臣

成程此低金利ノ行ハレテ居ル時ニ於テ、一割乃至一割二分ト云フヤウナ配當ヲシテ居ルト云フコトハ、如何ニモ配當ノ率ガ高過ギルト云フコトハ、一見シテ世間ニ於テハサウ考ヘルノデアリマス、併シ其銀行ノ從來執ッテ來タ經營ノ方法ナドヲ能ク考ヘテ見マス云フト、例ヘバ今例ニ舉ゲラレテ居ル日本銀行ニシテ

モ、正金銀行ニシテモ、景氣ガ非常ニ好イ、配當シヨウト思ッタナラバ或ハ、二割、二割五分ノ配當ヲ爲シ得タ場合ニ於テ、ソレヲセズニ居ル、サウシテ何處迄モ自分ノ基礎ヲ堅固ニシテ行クト云フ方ニ力ヲ注イデ居ル、ソレ故ニ其銀行ノ今日配當スル率ガ適當デアルカナイカト云フコトハ、銀行ノ拂込ノ資本金並ニ積立金、其他ノ隠レタ力ト云フモノヲ考慮シテ、サウシテ適當デアルカナイカト云フコトヲ考ヘナケレバナライ、又大藏省トシテモ、特殊銀行ナドガサウ始終配當ガ殖エタリ減タリスルヤウナ状態ニ置キタクナイ、先ヅ今御示シシナッタ日本銀行、正金銀行ノ如キハ、私ハ今申上ゲタヤウニ考ヘテ居リマス、農工銀行ニナルト私ハ知リマセヌ、是ハ政府委員カラ御答申上ゲマス

○荒井政府委員 農工銀行ノ配當ガ高過ギルデヤナイカ、斯ウ云フ御話ガゴザイマシタガ、此點ニ付テ御答致シマス、只今農工銀行ノ配當ノ最高ハ一割ヤッテ居ル所モアリマスガ、勿論是ヨリ低イ配當ヲシテ居ル銀行モ大分アリマス、今日段々不動産金融ニ付キマシテモ、金利ヲ低下シテ行カナケレバナラス、貸付ノ利率モ下ゲナケレバイカヌト云フコトデアリマスカラ、銀行ノ收支

ハ困難ニナルト云フコトハ、是ハ普通銀行バカリデハゴザイマセヌ、不動産銀行ニ付キマシテモ亦同様ナ傾向ノ現ハレテ居ルト云フコトハ、私カラ申上グルマデモナイコトデアリマス、隨ヒマシテ其配當ニ付キマシテモ十分研究ハ致シテ居ルデアリマシガ、今日一割ノ配當ヲ致シテ居リマス銀行ニ付キマシテハ、只今大藏大臣カラモ御話ガアリマシタ通り、相當ノ沿革モアリ、從來ノ資力モ相當充實致シテ居ルモノガ多イノデアリマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、配當等ニ付キマシテ無理ノナイヤウニ十分注意致シタイト考ヘテ居リマス

○松田委員 其農工銀行ノ配當ヲ多クシテ居ルト云フ原因ハ、アナタノ見ルト私ノ言フノハ違ヒマス、是ハ明ニ分ッテ居ル、私ハ敢テ言葉ヲ短ク致シマシテ御質問申上ゲテ居ルノデゴザイマスカラ、アナタノ御答辯ノ方デ工合ノ惡イ所ハ隠シテ、都合ノ好イ所ダケ申シテ居ラレマスト、質問應答ガ長クナリマスカラ、御注意願ヒタイ、農工銀行ハ十五年年賦、二十年年賦ヲ以テ元ハ七分三厘、七分五厘ト云フヤウナ資金ノ仰イデ、サウシテ貸シテ居ル、其年賦金ヲ支拂ノ途中ニ於テ低金利政策ガ行ハレ、金利ガ下ッテ、元ハ七分三厘、七分五厘デ發行サレタ其

農工債券デ資金ヲ得テ居ッタ資金ガ、今デハ悉クト言ッテ宜イデス、殆ドト言ッテ宜イデスガ、四分五厘ニ皆借換ヘラレテ居ル、其七分五厘デ發行致シテ居ル、所謂農工銀行ノ資金ガ七分五厘ニ付イテ居ル時ノ貸出ハ、ドウデアッタカト云フト、平均八分八厘デ貸シテ居ッタ、サウスルト普通ノ時ハ、低金利政策ガ行ハレヌ時ハ一分三厘ノ轄ヲ取ッテ居ル、所ガ偶ニ低金利政策ガ行ハレテ來タガ爲ニ其資金ハ四分五厘ニ減デ居ル、サウスルト云フトソコニ三分ノ相違ガ出テ居ル、成程八分八厘デ借換ヘラレテ居ルモノハ澤山アリマス、澤山アリマスルケレドモ、皆借換ヘテハ居リマセヌ、又借換ノ時ニ二厘ノ手数料ヲ取ッテ居ル、是ハ高利貸ノヤリ方デアル、一體農工銀行ガ二厘ノ手数料ヲ取ルト云フコトハ、十五年々賦デ貸シテ居ルナラバ、五年經ッテ一時之ヲ返スカラ、農工銀行ハ其遊金ガ多クナッテ來ルカラ、其損失ノ爲ニ二厘取ルト云フノガ二厘置イタ理由デアル、ソレガ今借換ヲ爲ス時ニ、十年殘ッテ居ル年金ヲ七分三厘ヤ七分五厘デ借換ヘル時ニ、矢張證書面デ二厘ノ差ヲ取ッテ居ル、ソレガ厭サニ借換ハ十分行ハレテ居リマセヌ、サウスルト低金利政策ガ行ハレテ居ラナカッタ時ニハ、一分三厘ノ轄ヲ

取ッテ居ッタ農工銀行ハ、偶ニ低金利政策ガ行ハレタガ爲ニ、莫大モナイ四分三厘位ノ暴利ヲ貪ッテ居ルト言ハナケレバナラス、其結果ソコニ一割ノ配當ガ今デハ出來テ居ル、是ハ早晚ハ減リマセウケレドモ、今デハソレガ多い、斯ウ云フコトニハドウ云フ御監督ヲ遊バサレテ居ルカ、昨年ノ末ニ農工銀行ノ貸付ノ利息ノ最高ヲ大藏省ガ認可サレタノハ、七分三厘デ認可シテ居ルデアリマセヌカ、其金ノ資金ガ幾ラカト云フト四分五厘ニシカ付イテ居リマセヌ、ソレデヤ農工銀行ハ儲ケナクチャナラス、唯損ヲシテ居ル者、低金利政策ノ御蔭ヲ受ケテ居ル者ハ、可哀相ニ不動産ヲ擔保デ以テ借りテ居ルノハ、皆此低金利政策ノ御蔭ハ受ケテ居ラス、此事實ハ能ク御考ヘ下サレバアナタ方ノ御監督ノ立場カラ分ル事デアル、サウ云フ所カラ考ヘテ見マスナラバ——サウシテ延滞ヲ致シタナラバ日歩四錢、現在サウデアリマス、若シ事情ニ依ッテ返セナンダナラバ、日歩四錢ノ罰金ヲ取ル、何事ヲ農工銀行ハサレテ居ル、ソレハアナタノ直接御監督ノ銀行デヤナイカ、サウ云フ風ナコトデ今困ッテ居ル者ハ、小サイ不動産ヲ擔保ニシテ借りテ居ル者ハ七分三厘、大藏省ガ認メタ利息ノ七分三厘デ貸シテ宜イ、ソレ

ガ四分三厘ノ證券得タモノヲ七分三厘デ貸シテ、三分幾ラノ鞘ヲ取ッテ宜イト云フコトヲ大藏省ガ許シテ置キナガラ、一割ノ配當ハ元カラノ堅實ナル遺方デアルカラト云フヤウナコトハ、是ハ申サレナイと思フ、ソレナラバ將來農工銀行等ガ不動産擔保ノ貸付ヲ爲スノニ、昨年ノ末ニハ何ボデ貸シテ宜イト云フコトヲ御許シニナッテ居ルカ、之ヲ承リマシテカラ後ニ、事實ヲ當嵌メマシテ御質問申上ゲタイト思ヒマス

○荒井政府委員 只今農工銀行ノ貸付利率ノ問題ト債券ノ關係ニ付テノ御質問デアリマスガ、成程債券ノ關係ニ付キマシテ、漸次農工債券ガ低利ノモノニ借換ヘラレテ居ルト云フコトハ事實デアリマスガ、是ハ私ドノ位ナ割ニナルカ茲ニ記憶ガゴザイマセヌデスガ、マダ中々借換ヘルコトガ出來ナイモノモ相當ニアルト思ヒマス、ソレガ漸次借換ヘラレマスレバ非常ナ安イ資金ヲ得ラレマシテ、貸出利率ニ付キマシテモ、尙ホ今後ニ於テ餘計ニ下ゲルコトガ出來ルカト思ハレルノデアリマス、ソレカラ農工銀行ノ既往ノ貸付利率デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ是ハ最高利率デアリマシテ、實行利率ハモウ少シ低イノモアルカト思ヒマスデスガ、昭和九年ノ下期ニ於キマシテ

勸業銀行ノ公共團體ノ貸付利率ハ六分ニナッテ居リマスガ、普通田畑鹽田等ハ六分五厘デアリマス、農工銀行ノ分ニ付キマシテハ公共團體ノ分ハ七分二厘デ、ソレカラ各種組合等ハ七分四厘ニナッテ居リマス

○松田委員 サウ致シマスト今尙ホ四分五厘ニ借換ヘタモノハ勿論悉クデヤナイト認メテ居リマスガ、五分ノモノモ多少殘ッテ居リマスケレドモ、之ヲ平均致シマシテ假ニ百歩ヲ讓ッテ五分ト見マス、五分ト見マシテデモ、矢張二朱三厘鞘ヲ取ッテ居ル、一般銀行ハソシナ鞘ハ取レテ居リマセヌ——一寸能ウ聽イテ下サイマセヌト答辯ガ間違フカモ知レマセヌカラ——ソレデ農工銀行ハ低利資金ヲ勸業銀行、興業銀行カラ得ル時ニ、是ハ六厘ノ鞘ヲ取ッテ居リマス、是ハ御認ニナッテ居リマスガ、種々ナル低利資金ガ民間ニ廻ッテ行クノニ、農工銀行ヲ潛ッテ行ク時ニ六厘ノ鞘ヲ取ッテ居ルガ、之ハアナタノ方デ御認メニナッテ居リマスガ

○荒井政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ預金部ノ所謂低利資金ノ關係ト思ヒマスガ、一般ニ農工銀行、勸業銀行ヲ通ジマシテ元ハ六厘デアリマシタガ、今日ハ七厘ノ鞘ガアルト思ヒマス、是ハ色々手数料ト申シマスガ、ソレニ付キマシテ取扱ノ經費ガ要リマス、

ソレガ要リマス爲ニ七厘トナッテ居リマス

○松田委員 サウシマスト、マダ昨年ヨリ一厘殖エテ居ルコトニナル、是ハドウシテモ、此點カラ申シマスト、農工銀行デ手数料ヲ取ルト云フモノハ、算盤ヲ持ッテ見マス、農工銀行ハ斯ウ云フ利ノ鞘ヲ取ッテ居ルノト、マダ其他ニ利益ガアルノデアリマス、即チ政府ノ方カラ金ガ來マシタ所ノ日歩ガ——貸付ガ遊ンデ居ル日歩ガ丸儲ケシテ居ルノガアリマス、斯ウ云フコトハ御氣ガ付カレナイノカ、之ヲ合セマスルト丁度彼此レ私ガ六厘ト見タ時デモ八厘七毛利益ニナッテ居ル、サウスルト今デハ九厘七毛、約一分ノ鞘ヲ、イラフダケデ取ッテ居ル、ソシナヤウナ鞘ヲ誰ガ負擔スルカト云フト、結局民間ノ借ル方ノ者ガ負擔スル、サウ云フヤウナコトヲ御氣付キニナッテ居ッテ、此農工銀行ノ一割ノ配當ヲ御認ニナッテ居ルト云フコトハ、甚ダ矛盾シテ居リハセヌカト思フ、今大藏大臣ガ經費ヲ節約セヨ、堅實ニヤレト斯ウ云フ御言葉デアリマシタガ、是ハ其通りデアリマス、大臣ハ其點ヲ含ンデ居ラレル、サウ云フ御意見デアルガ、アナタ方ハサウデハナイ、餘計金ヲ取ッテ贅澤ヲセイ、隠レタ利益ヲ取ッテ農民ノ負擔ヲ重クシロ、斯ウ云フコトニナリハシマセヌカ

○荒井政府委員 只今ノ預金部ノ資金ノ七厘ト云フノデアリマスガ、是ハ勸業銀行、農工銀行ニ付キマシテハ、普通ノ銀行ヨリモ利鞘ガ少イノデ、却テ取扱ニ付キマシテモ經費ニモ足りナイ、斯ウ云フコトヲ、實際サウ云フ計算ヲ立テマシテ、預金部ノ方ニ色々ト要求致シテ來ルノデアリマスガ、是ハサウ云フ性質ノモノデナク、出來ルダケ低利ノ資金ヲ供給スルト云フモノデアアルカラ、間ノ經費ハ成ベク節約モシロ、又餘リ餘計ナモノヲ出スコトハイカヌト云フコトデ、只今ノ所ニ決ッテ居ルノデアリマス、是ガ非常ニ勸業銀行、農工銀行ノ儲ケニナルト云フコトニハナラヌモノト思ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ、私共ガ銀行ニ對シテ金ヲ餘計取レ、或ハ贅澤モシテ宜シイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルコトハ毛頭ゴザイマセヌ、只今大藏大臣ガ御示ノ通り、銀行ノ經費ハ出來ルダケ節約シ、又配當モ或ル程度ニ止メマシテ、今日ノ低金利ノ趨勢ニ應ズルヤウナ方策ヲ講ジタイト思ヒマス、若シ只今マデヤッテ居リマスコトガ非常ニ不十分デアルト云フ仰セデアリマスレバ、尙ホ十分研究致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス

○松田委員 能ク分リマシタ、唯私ノ申上

ゲルノハ、大臣モ此處ニ御聽キニナッテ居リマスルガ、農工銀行ノ株ガ高い、農工銀行ノ株ノアキハナイカアキハナイカト云ッテ居ル、一方ニ低金利政策ヲ行ハレテ居ルモノダカラ、農工銀行ノ株ヲ買ハウノトシテ馬鹿ニ値ガシテ居リマス、斯ウ云フ所ガ、矢張一割ノ配當ヲシテ、株ガ高イト云フト、一方ニ遊金ガ農工銀行ノ株ニ流レテ來ル、ソレデ市場ニ支障ヲ來シマス

ソレカラ、此處マデ參リマシタノデアリマス、先程カラ申シマスル如ク、低金利政策ハ下々ノ農民ニ行渡ッテ居ラナイ、隨分高イ金ヲマダ借りテ居リマス、過般獨逸ガ不動産貸出ニ付テ、六分ト云フヤウナ法律ヲ出シマシタ、日本ノ國情ト獨逸ノ國情ノ違ッテ居ルコトハ固ヨリ承知ヲ致シテ居リマスルガ、不動産擔保ノ貸付ニ付テハ、何カ此低金利政策ガ、モウ少シ萬遍ナク行渡ルヤウニ、モウ少シ農工銀行等ノ利息ヲ下ゲテ貸シテヤルト云フヤウナ便法ヲ、何カノ形式ニ依ッテ執ッテ戴クヤウナコトハ出來ヌモノデアリマセウカ、大藏大臣ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 是ハマダ大藏省トシテ方針ヲ決メテ研究ヲシテ居ル問題デハアリマ

セヌガ、ドウモ、都會ト云ハズ、農村ト云ハズ、不動産ノ貸付ニ付テハ餘程改善ヲセネバナラヌ必要ガアルト私ハ認メテ居ルノデアリマスガ、是ハ中々容易ナモノデナイ、從來カラノ仕來リガアルシ、マダ十分ニ研究ハ致シテ居リマセヌケレドモ、今日、斯ウ云フ風ニ、社會ガ始終經濟的ニ著シイ變化ヲ來シツ、アリマスカラシテ、一番不動産ニ對スル貸借ノ關係ニ付テハ、重キヲ置イテ是ハ一ツ考ヘナケレバナラヌト斯ウ考ヘテ居リマス

○松田委員 ソレト同時ニ政府當局ニ御伺ヲ致シテ置キタイト思ヒマスガ、政府ハ政府貸付金ノ取立ニ付テ、今法律案ガ出テ、幸ヒ此委員會ニ付セラレテ居リマス、アレヲ見マスルト云フト、此間大藏大臣ノ御説明モアッタノデアリマスガ、昭和四年カラデアリマスカ、五千五百萬圓ノ金ガ年賦金デ入ラナケレバナラヌモノガ、僅ニ二百四五十萬圓ダケ拂ヘテ、アトハ皆延滞ニナッテ居ル、之ヲ此儘放ッテ置クト云フト、突拔ケル、返ラヌコトニナル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ事ハ大キイカ小サイカノ差コソアレ、農工銀行ハ金利ノ安イ時ニ高ク貸シテ居ル、又前ノ高カタ農工債券ニ寄ッテ來ル資金ガ——高カタ當時ノ貸

付ガ、マダ整理ヲ十分致サレテ居ラヌト云フ筆法カラ考ヘテ見マスルト云フト、政府ノ貸付ケラレタ金ハ、大抵五分デアリマス、アレノ延滞金ヲ取立テルト云フ方法モ、是モ一ツデアリマスルガ、其他ニ、貸シテヤッテ居ル所ノアノ利息ヲ、モウ少シ下ゲテヤッタラ取立モシ易イノデハナイカト思ヒマス、是ハ低金利政策ヲ行ハレテ居ル政府ノ當然御考ヘ下サルベキ所デハナイカト思ヒマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承ッテ置キマス

○青木政府委員 御質問ノ御趣旨ハ御尤ダト思ヒマス、今度ノ法律案ガ通過致シマスレバ、御説ノ如ク金利等ニ付キマシテモ、相當考慮シテ、無理ノナイヤウニ支拂ノ出來ル途ヲ講ズルコトニナルノデゴザイマス

○松田委員 サウ致シマス、更ニ御伺申上ゲマスルガ、近頃普通銀行ノ考課狀ニ現レマスル——損失金回收利益ト云フモノヲ澤山近頃考課狀ニ見マス、是ハ名前ハ各、別ニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、意味ハ一旦缺損ニ落シタモノガ取立テラレテ更ニ生レテ來タモノヲ、全部利益ニ致シテ居ルト云フ、アノ考課狀ニ現レテ居ル金額ハ、而モ澤山アル、國家自身ガ五千五百萬圓モ取ラナケレバナラナイ年賦金ガ、僅ニ二百四五十

萬圓シカ取レナカッタト云フ事情ニ對シマシテ考ヘテ見マスルナラバ、普通銀行ハ、貸付ニ對スル其金ノ取立モ、矢張政府ノ金ノ取立ト同様ニ、ソレノ疲弊困憊致シテ居ル現狀カラ申シマスルナラバ、普通銀行ト雖モ、是ハ未收金ノ殖エルト云フコトハ當然デアルト思フ、國家ハ、其金ヲ怠クカラト云ッテ、法律ヲ變ヘテ取立ヲ強クスルトカ、取立ノ方法ヲ變ヘルト云フヤウナ法律案ヲ出シテ居リマスルガ、今マデ普通銀行ヲ御監督下サルノニハ、一年怠クナラバ、

悉クソレヲ缺損ニ落セト大藏省ガ言フ、是ハ、モウ半年待ッテ貰ッタナラバ入ル金ダト、如何ニ辯明致シマシテモ、是ハ缺損ニ落セト、殆ド無理ニ缺損ニ落サセシマッテ居ルカラ、普通銀行ハソレヲ全部消シテシマッテ居ル、ダカラ普通銀行ノ減配トカ無配當トカ云フモノハザラニ出テ來ルノデアリマス、斯ウ云フ所ヲモウ少シ事情ヲ調べテヤッテ貰ッテ、取レル金ナラバ一途ニ缺損ニ落サナイヤウニ、平生ノ監督ヲ怠ラナイヤウニシテ、金融業者モ營業ノ出來得ルヤウニ、何トカ是ハ大藏省ノ方デ御考下サル方法ハナイモノデアルカ

○荒井政府委員 只今ノ、今日マデ銷却ニ落シタ勘定ガ生返ッテ來ルト云フコトモ、最

近ニ於テハ起ッテ來ルト云フ話ハ承知致シ

テ居リマス、ソレガドノ位ナコトニナッテ居
リマスガ、詳細ハ存ジマセヌデスガ、是ハ
一般ノ景氣回復ニ伴ヒマシテ、今マデ殆ド
イケナクナツタ事業ガ、大分復活シテ來ルト
云フ關係カラ、銀行ノ爲ニ非常ニ有利ナ計
算ニナッテ參ルト云フコトガ起ッテ參ッタノ
デアリマス、ソレト只今御話ノ銷却ノ關係デ
アリマスガ、御話ノヤウニ或ル程度ノ銷却
ハ十分ニサセナケレバ、銀行ノ基礎ガ堅實
ニ行カヌト云フ趣旨カラ、出來ルダケノ銷
却ハセヨト云フコトハ、從來銀行當局者ニ
モ話ハシテ居ルノデアリマス、併ナガラ只
今ノ御話ノヤウニ、是ガ無理ナ程度ニマデ
行ットルカドウカト云フコトニ付キマシテ
ハ、ソレマデ甚シクハナッテ居ラヌト私ハ考
ヘテ居リマス、唯今後ニ於キマシテ、勿論
今マデノ債權ガ大分活キテ來ル、又事業モ
勃興シテ來ルト云フコトニナリマスレバ、
自然其銷却スベキモノガナクナルノデアリ
マシテ、銀行ノ内容モ堅實ニナリ、又其收
支ノ計算モ非常ニ樂ニナルト云フコトデア
リマシテ、吾々トシテモ竊ニ喜ンデ居ル次
第デアリマス、サウ云フ傾向ガ生ジマスル
コトヲ希望シ、又銷却等ニ付キマシテモ、
是等ノ點ニ考ヘマシテ、將來ニ互リマシテ

ハ、十分注意スル積リデアリマス

○松田委員 能ク御親切ナル御答辯了解

ハ致シマシタガ、更ニ政府ノ貸付金ノ取
立ノアノ方法ヲ變ヘルト云フ法律案カラ見
マス、矛盾致シテ居ル、今アナタノ御答
カラ考ヘテ見マスルト云フト、事業ガ殖エ
タリナンカシテ、ソレデ銀行ノ方ガ有利ニ
ナッテ來テ、返ス金ガ民間ノ方ニ餘計出來テ
來タカラ、一旦缺損ニ落サナケレバナラヌ
ト大藏省ガ思ッタモノデモ、事業ガ起ッタカ
ラソレデ返シタング、ソレデアノ損失銀行
ノ還元ガ出來タング、斯ウ申サレルモノト
解釋シナケレバナライ、サウシマス、
政府ノ貸付金モ矢張サウナッテ來ナケレバ
ナラヌ、減ッテ來ナケレバナラヌノガ、
段々殖エテ居リマス、政府ノ貸シタ金モ
是ハ國民ノ金デアリマス、政府ハ其責任ヲ
以テ御貸ニナッテ居ルノデス、是モ同ジ結果
ニナッテ來ルデヤアリマセヌカ、是モ殖エテ
居ル、唯アナタノ仰セラレルノハ一ツノ通
辭ヲ設ケラレテ居ル、遁辭デヤゴザイマセ
ヌデセウガ、私カラ考ヘルトサウ考ヘナケ
レバナライ、此質問ガ此次ノ貸付金ノ方
ニ引用サレルコトニナルト困リマスカラ、
其邊ヲハッキリモウ一應承ッテ置キタイ

○荒井政府委員 政府ノ貸付金ト銀行ノ

貸付金トヲ直チニ比較シテ論ズルト云

フコトガ、性質上或ハ違フ點ガアルト考
ヘラレルノデアリマスガ、御承知ノ通
リ、只今ノ御話ニナリマシタ通り、銀行ニ
付キマシテハ矢張預金ヲ本ニシテ、是ガ貸
出ニナッテ居ルノデアリマス、出來ルダケ預
金者ノ保護、預金者ノ財産ノ確保ト云フコ
トヲ使命ト致シテ居ルノデアリマスカラ、
銀行ノ資産ノ内容ヲ堅實ニスルト云フコト
ハ、必シモ銀行個人ノ利益バカリデアアリ
マセヌノデ、一般ノ社會ノ利益ニナルト云
フ點モ考ヘ得ルト思ヒマス、勿論銷却致シマ
シタモノヲ、ドレダケ銀行ガ取立テルカ、
是ハ銀行ニ依リマシテハ隨分負ケマシテ、
或ハ三分ノ一トカ、二分ノ一トカ云フモノ
ヲ取立テ、居ルモノモアルコトハ、現ニ承
知致シテ居ルノデアリマス、其點ニ付キマ
シテハ、銀行ト致シマシテモ相當ニ考慮モ
拂ッテ居ルコトカト思ヒマス

○松田委員 ソレハ、サウ云フ所モアリマ

ス、ソレハナイトハ申シマセヌ、アリマス、
アリマスケレドモガ、ソレナラ前ニサウ云
フコトヲ言ッテ貰ハナケレバナラヌ、言ッテ
貰ヘバソナ質問ヲシナカッタ、ソレデ私ハ
今日カラ申シマスルト、普通銀行ガ利益ガ
少イ、特殊銀行ガ利益ガ多イ、而モ特殊銀

行ノ中、大キナ銀行ガ暴利ヲ貪ッテ居ル、斯

ウ云フコトガ一般民衆ノ頭ニ滲ミテ來ルト
云フト、大變財界ニ影響ヲ及ボスコトニナ
ルノデス、又一方此赤字公債ヲ發行シテ居
ル際、極メテ政府ハサウ云フコトニ最善ノ
注意ヲ拂ッテ置カナケレバナライ、ソレデ
銀行モ預金ガ殖エテ、サウシテ而モ利益ガ
アルヤウニ育テ、ヤル、サウシテ政府ハ其
預金若クハ遊金デ以テ公債ヲ買ハシメル、
國家モ宜ケレバ、金融業者モ宜イ、是デ生キ
テ行ケルト云フ途ヲ講ジテヤッテ貰ハナケ
レバナラヌ、預金者モドウデモ宜イ、普通
銀行モドウデモ宜イ、國家ノ公債ダケ賣レ
タラ是デ宜イワト云フノデハ、是ハ國家ノ
公債デヤナイ、政府ノ公債デアル、サウ云
フ風ナコトノナイヤウニ御注意ヲ願ヒタイ
ト云フコトノ質問デアリマス、ソレヲ考ヘ
テ見マスルト、今日ノ大銀行——而モ半官
半民ノ銀行若クハ大銀行ガ地方ニ進出致シ
テ來マシテ、地方ノ細カイ銀行ヲ窘メテ居
ルト云フヤウナ實例ニ乏シカラヌノデアリ
マス、斯ウ云フコトハ御承知デヤアリマセ
ヌカ、私ガ之ヲ申上ゲナクテモ銀行局ノ方
デ能ク御承知ノ筈デアリマスガ、サウ云フ
事ハアリマセヌカ、サウ云フ御監督ハ十分
ニサレテ居リマスカ

○荒井政府委員 大銀行ノ支店ガ地方ヘ進

出ヲ致シマシテ、其土地ノ預金ヲ集メテ、貸出ハ一向シナイト云フ非難ハ從來隨分アツタノデアリマス、最近ニ於キマシテハ、銀行ニ於キマシテモ預金ガ隨分殖エルノデアリマス、預金ノ吸收ニ努力スルト云フ點ハ、餘程薄ライデ参ッタト考ヘテ居リマス、却テ資金ノ放資ニ苦ムト云フヤウナ狀態モ現レテ参ッタノデアリマス、斯ウ云フ非難ハ漸次薄ライデ來ルモノト信ジテ居リマス、又大銀行ニ於キマシテモ、地方ニ支店ヲ有ッテ居リマスガ、此支店ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、段々考ヲ直シテ参リマシテ、若シ地方ニ於キマシテ有力ナ銀行ガアリ、其銀行ニ於テ大銀行ノ支店ヲ讓受ケタイト云フヤウナモノガアリマスレバ、喜ンデ之ヲ讓渡スト云フ銀行モ大分殖エテ來タノデアリマス、現ニ最近ニ於テモ二三其例ヲ見テ居ルノデアリマス、其傾向ハ大分宜シクナツテ居ルト私ハ考ヘテ居リマス

○松田委員

ソレハ見方ガサウ云フ半面カラ行キマス場合ハサウデアリマセウ、サウデヤナイ、昨年ハ都市ニ本店ヲ有シテ居ル所ノ銀行ノ預金利息ガ、地方ニ支店ヲ有ッテ居ル場合ニハ、今迄ハ三厘ノ鞘ガアツタ、例ヘテ見マスレバ、或縣ノ方ニ向ッテ、大キナ

銀行ノ支店ガアル、其本店デハ三歩七厘デ預金ヲ預ッテ居ル、支店ノ方ハ地方銀行並ニ矢張三厘足々ズノ増デ、四歩デ預ッテ居ル、ソレガ昨年矢張本店同様ノ三歩七厘ニシテシマヘト云フコトデ下ゲタ、其時ニ地方ノ銀行ハ非常ニ迷惑ヲシテ、是ハ低金利政策ノスルコトダカラ、惡イトハ申シマセヌ、國家ノ大局ノ上カラ申シマスレバ、惡イトハ申シマセヌガ、一部金融業者ト云フモノハ非常ニ寔ガ爲ニ迷惑ヲ受ケタ、同ジコトナラバ國民カラ考ヘマスレバ、資本ノ大キナ大都會ニ本店ヲ持ッテ居ル所ニ預ケレバハモウ安心デアアル、唯三厘ト云フ利息ノ鞘ガアルカラ、目先勘定デ此銀行ヘ預ケテ置クト云フノデ、普通銀行ト云フモノハ生命ヲ繫イデ居ル、今日デハ都市ニ本店ヲ有シテ居ル、其本店ノ利息モ地方ノ支店ノ利息モ同ジコトニナツタ、アノ事實ヲ見マシテハ今アナタノ言ハレルヤウナ議論ハ是ハ出來マセヌ、ケレドモ私ハ之ヲドウ變ヘテ呉レトカ、ドウ言ッテ見タ所ガ及バヌ話デアリマスルガ、唯アナタハ都合ノ好イコトダケヲ言フガ、サウデヤナイ、サウ云フ風ナコトニナツテ來ルト、是デハモウ普通銀行ハ預金ヲ取ッテ僅カナ鞘デ生キテ行クヨリ、寧ロ他ニ四分

一厘弱ニ付ク公債ヲ有ツナリ、何カノ株ニ投資スルト云フヤウナコトニナツテ來ヤセヌカ、サウスルト赤字公債ガ又幾ラカノ支障ヲ來スノデヤナカラウカ、是ハ全部支障ヲ來ストハ申シマセヌガ、斯ウ云フコトデ又幾ラカノ支障ヲ來シハセヌカト思フノデアリマス

ソレカラ尙ホ銀行局ノ方デ銀行ヲ検査サレテ居ル方法ガ、今申シマスル如ク一年經ッタナラバ缺損ニ落シテシマヘ、是ハ成程銀行自體ノ堅實ト云フ上カラ申シマスレバ、銀行局ノ御言葉ハソレデ結構デアアル、サウナクテハナラヌノデスガ、ソレモ程度ガアル、程度問題デス、其銀行ガ成立ッテ行カヌヤウナ時ニデモ、無理ニソレヲ落シテシマフ、ソレハ取立テラレヌニ決マッタモノナラバ是ハ仕方ガアリマセヌガ、御承知ノ通り考課狀ト云フモノニ年々現レテ來テ居ル、サウスルト、サウ云フヤウナコトガ嚴重ニサレ、バサレル程、預金増加ノ上ニ影響ヲ來シテ來ハシナイカト思フ、之ヲ何トカシテ幾ラカ緩和デモスルヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ

○荒井政府委員

只今ノ御話、一年經テバ缺損ニ落セト云フコトヲ嚴格ニ厲行シテ居ルト言ハレマシタガ、私ハ一寸記憶ガナイ

ノデアリマス、勿論其銀行ニ依リマシテ其銀行ノ營業ノコトモ考ヘ、資産狀態ノコトモ考ヘ、又收支ノコトモ考ヘマシテ、適當ニ整理ハ命ジテ居ルノデアリマス、若シ無理ナ實例デモアリマスレバ、十分取調べマシテ斯ル事ノナイヤウニハ致シマスガ、餘リ無理ヲヤッテ居ルト云フヤウニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○松田委員

近頃銀行局長ニ御就任ニナツタ所デゴザイマスカラ、餘リ立入ッテ御質問ヲ申上ゲルノモ如何カト存ジマスガ、過去ノ實例ハ斯ウ云フコトニナツテ居ル、之ヲ參考ニ聽イデ置イテ戴キタイと思フノデアリマス、後々ニマダアナタ以下ノ方々モ居ラレマスシ、大臣モ此處ニ居ラレマスカラ、實例ヲ聽イテ戴キタイ、銀行検査官ガ銀行ニ來タ時ニハ、營業時間中デアラウトナカラウトソソナコトハ一寸モ御構ヒナシニドシノ入ッテ來テ、一々行員ノ名前カラ年齢マデ調べテ外ニ出サヌデ、マルデ豫審判事ガ家宅搜索ニ來タヤウニ、金庫ノ前ニ立ッテ此金庫ヲ開ケヨ、現金ヲ早く出セト命ズル、斯ウ云フコトガ例ニナツテ居ル、私ハ實例ヲ幾ツトモナク見タノデアリマス、斯ウ云フ風ナ御取調ヲスルモノダカラ、惡イ事デモシテ居レバ別デアアルガ、貸シタ金

ガ取レヌヤウナ疑ノアル事デモシテアッタナラバ、是ハ大藏省カラ叱ラレルト云フ、所謂恐怖心カラ、貸付ヲシタクテモヨウシナイ、何シロ貸シテ若シヤ一箇年デモ滞タナラバ缺損ニ落シテシマヘ、斯ウ言ハレルノデアルカラ、是ハ大丈夫ト思ッテ居ッテモ、検査ガソナ風ニ厳シクテ、極度ニムヅカシイカラ貸付ヲシタイノニヨウセズニ居ルモノガ澤山アル、ソレニ依ッテ結局預金増加、貸付減ト云フコトニナッテ來ルノデアリマス、之ヲ半面カラ考ヘマスト云フト、政府ハ銀行ノ検査ニ程度ヲ外シタ嚴重ナ検査ヲヤリ、貸付ヲ少クスル、サウシテ遊金ヲ多ク出サシテ、赤字公債ヲ成ベク賣ラサウト云フヤウナ方法ヲ執ッテ居ルノデヤナカラウカト思ハレル、是ハ平タク考ヘレバサウ思ハレル、恐ラクハアナタハ御承知デヤゴザイマスマイガ、大藏省ノ官吏ガ銀行ノ検査ニ來タ時ノ勢、金庫ノ前ヘ立ッテ、金庫ヲ開ケヨト命ズル時ノ態度ハ、近頃能クアルアノ銀行ヤ金融業者、郵便局ヲ襲フテ來ル「ギヤング」、アレガ「ドー」ヲ開ケテ入ッテ來タ時ノ態度ト、検査官ガ検査ヲ爲サントシテ銀行ニ入ッテ來タ時ノ態度ト、何處デ區別ガ付キマスカ、(笑聲)或ハ斯ウ申シマスレバ、ソレハ銀行検査官ハ

「ビストル」ヲ持ッテ居ラヌト言ハレルカモ知レマセヌ、「ビストル」ハ持ッテ居ラヌカモ知レマセヌガ、其態度ト來マシテハ、何人ガ來タノデアルカ、一面識モナイ人ガ名刺一枚出サヌデ金庫ヲ開ケサシテ、擔保物ヤ何十萬圓ト云フ金ヲ引繰返サス、ソレガ何カ検査官デナクシテ「ギヤング」デアッタラドウシマス、兎ニ角非常ナ迷惑ヲ感ジテ居ルモノガ澤山アリマス、是ハアナタノ御責任デヤトハ申シマセヌ、大藏大臣ノ御責任デヤトモ申シマセヌガ、斯ウ云フヤウナ事ガ今日マデアルコトハ事實デアリマス、是等ノ點モ其銀行會社ノ身ニナッテ考ヘテヤッテ、悪い所ハ斯ウセヨ、將來ノ方針ハ斯ウシテ行ケヨト言ウテ、育テ、ヤルヤウナ氣ニナッテ貰ヒタイ、譬ノ末デヤアルマイシ……(笑聲)ソレカラ甚シキニ至リマシテハ、地方ノ金融會社ヘ行ッテ、サウシテ其會社ヘ入ッテ行ッテ、金庫ヲ調ベル、アトノ屬官ハ表ヘ行ッテ御前ノ所ハ此處トドンナ取引ヲシテ居ルカト云フコトヲ調ベル、ソレガ爲ニ其處デ營業ガ出來ナクナリ、他ノ處ニ行ッテ營業ヲシテ居ルモノガ今アルノデアル、アナタノ方デハソナ覺エガナイト言ハレルガ、生キタ證人ガ澤山アリマス、サウ云フヤウナコトデオヤリニナッテ

居ル、是ハ之ニ依ッテ普通銀行ヲ撲滅サセヨウト云フ方針デヤナカラウカ、モウ少シ時代ガ進ンデ行ッテ、赤字公債ガ出デ來タナラバ、普通銀行ノ如キハ證券會社ト同様ニナッテシマフ、モウ殆ド預金ト貸付デ以テハヤレマセヌ、今中小商業ノ金融機關ハ普通銀行デ十分デアルト申サレテ居リマスケレドモ、アレハ五百圓カラ五千圓マデノモノヲヤッテ貰フ、五千圓以下ノ貸付ハ昭和三年ノ銀行ノ貸付カラ見マスト約三割減ジテ居ル、細カイノハ減ッテ居リマス、減ッテ居ルケレドモ、大分ノ金高ニ達シテ居ルカラ、中小商業ノ金融機關ハ普通銀行デ十分デアル、斯ウ言ッテ居リマスケレドモ、皆五百圓借ラウトスル時ニハ千圓ノ擔保ヲ持タナケレバ、今ノ検査ガ嚴シイノデ、ヨウ貸セヌ、ソナ風デ貸付ケテ居ッタナラバ、ドウシテ金融ノ圓滑ヲ圖ッテ、民間ガ此金融機關ヲ利用シテ以テ産業ノ勃興ヲ圖ルコトガ出來ルカ、銀行局トシテハ斯ウ云フヤウナ監督ヲシテ居ルコトハ事實デアリマス、斯ウ云フ風ナ監督ヲサレテ居ルガ爲ニ、普通銀行ト云フモノ、貸付ハ減ッテ來テ居ル

タ所ノ金ハ、自分ノ方ヘフンダクツテシマッテ地方ノ預金者ニ迷惑ヲ掛ケテモ宜イト云フコトデ、地方ニ進出ヲ致シテ來テ、地方ノ普通銀行ヲ窘メテ居ルヤウナ實例ガアリマスルガ、コンナ風ノコトヲ大藏省ノ方デハ御承知デアルカドウカ

○荒井政府委員 此検査ニ付キマシテハ出來ルダケ丁寧懇切ナ態度ヲ執レト云フコトヲ常ニ申シテ居リマスシ、又検査官モサウナケレバナラスト云フコトヲ十分自覺シテ居ル筈デアリマスガ、尙ホ今後ニ於キマシテ改善ヲ要スル點ガアリマスレバ、勿論之ニ努メルコトニ致シタイト思ヒマス、不意ニ行クト云フコトデアリマスガ、是ハ現金検査ノ必要等モアリマスノデ、不意ニ參ルト云フコトヲ原則ニ致シテ居リマスガ、段々其必要モナクナリマスレバ、或ハ豫メノ調査ヲ致シテ、其調査ニ依ッテ更ニ實地ニ就テ検査ヲスルト云フ方法モ、段々講ジタイト思ッテ居リマスカ、今日ハマダ其程度マデ至ッテ居ナイノデアリマス、勿論銀行ト云フモノニ付キマシテノ吾々ノ態度ト致シマシテハ、其資産ノ内容ヲ堅實ニシ、銀行業ガ益、發達スルト云フコトヲ切望シテ居ル次第デアリマスカラ、勿論之ヲ敵視スルト云フヤウナ考ハ、

毛頭アツハイカスト云フコトニ固ク信ジテ居リマス、出來ルダケ一ツノ國ノ産業ト致シマシテ、之ヲ助長發達サセルト云フ積リデナケレバナラスト云フコトヲ信ジテ居リマス、尙ホ係ノ者ニモ能ク其趣旨ハ徹底スルヤウニ、當局ニ於テモ注意シタイト思ヒマス、ソレカラ興業銀行等ガ地方ニ進出シテ競争スルト云フ御話ハ、或ハ中小商工業ノ金融ト云フコトニ關スルコトデアルカト思ヒマスガ、最近ニ於キマシテ、大分中小商工業ノ金融ニ付キマシテ盡力ヲシロト云フ要望ガ強イノデアリマス、興業銀行等ニ於テモ特別ナ部門ヲ置キマシテ、其部門ニ於キマシテハ、出來ルダケ中小商工業ノ金融ニ盡力スルト云フコトノ結果、或ハ多少普通銀行トノ間ノ競争ト云フ問題モ起ルカト思ヒマスガ、此中小商工業ノ金融ニ付キマシテハ、今日政府ニ於キマシテハ有ニル既設機關ヲ利用シマシテ、之ニ依リマシテ幾分ナリトモ中小商工業ノ資金融通困難ヲ緩和致シタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、サウ云フ點ノ御質問カト思ヒマスガ、尙ホ何カ別ノ事デアリマスレバ、ソレニ依ッテ御答致シタイト思ヒマス

○松田委員 ソレトハ違ヒマス、大キナ銀行ガ地方ニ入ッテ來テ、地方ノ銀行ノ取引ヲ

阻害スルト云フ、ソレデハナイノデアリマス、今マデニ大キナ銀行ガ地方ニ來テ金ヲ貸シテアル、或ル電鐵會社トカ、或ハ何々會社ト云フ大キナ會社ヘ金ヲ貸シテアル、其貸シテアル金ヲ取立テルノニ、地方ノ銀行モ矢張ソレニ貸シテアル、其時ニ興業銀行トカ大キナ銀行ガ入ッテ來テ、自分ノ債權ヲ保全スル爲ニ、此處ニ貸シテ居ル小サイ銀行ヲ窘メテ、其儘行ケバ破綻ヲ來シテ、預金者ハ預金ガ返ラナイト云フコトニナル、サウ云フヤウナコトハ大藏省ノ監督ノ上デドウカト思ヒマスノデ、大藏省ノ銀行局デハソレヲ御調査ニナッテ能ク御承知ノ答デアリマスルガ、地方ノ銀行ヲ犧牲ニ供シテ、自分ノ債權ヲ保全スル爲ニ現在ヤリツ、アル、ア、云フ方法ヲ執ッテ居ルモノガアリマスルガ、ソレヲ御否定ニナリマスレバ、事實ヲ擧ゲテ御質問ヲ申上ゲマスガ、サウ云フヤウナ事ガアリト致シマスレバ、地方銀行ノ身ニモナッテヤッテ戴キ、地方銀行ノ預金者ノ地位ニモナッテヤッテ考ヘテ戴キマシテ、サウ云フ所ノ監督ヲ十分ニシテ戴ケマス御意見ガアルカドウカ、例ガ違ヒマスカラ、此點ニ付テ御答ヲ願ヒマス

○荒井政府委員 只今ノ御話ハ多分或ル整理ヲシテ居ル會社及之ニ伴フ銀行ノ御話カ

ト承知致シマスガ、其點ニ付キマシテハ、興業銀行ガ或ル整理ヲ頼マレマシテ、其依頼ニ依リマシテ整理計畫ヲ立テマシテ、ソレガ實行ニ努力ヲシテ居ルト云フ話ハ聞イタノデアリマス、其點ニ付キマシテハ尙ホ地方銀行ノ利害ト云フモノモ勿論十分ニ考ヘナケレバナリマセヌシ、預金者ノ保護ト云フ立場モ考ヘマシテ、是等ノ點ヲ十分考慮シテ解決ヲスルト云フコトガ、一番好イ解決方法ト考ヘテ居リマス

○松田委員 結論ニ入リマス、別ニ答辯ハ要求ヲ致シマセヌ、普通大局ノ上カラ考ヘテ見マスレバ、矢張預金ガ多少殖エテ來テ遊金ガ出來テ來タ、其遊金ヲ相當ニ使ッテ赤字公債モ賣レテ行ク、ソレニ付テハ矢張地方ノ銀行ト雖モ、特殊銀行ト雖モ、ソレ等ノモノヲ育テ、ヤッテ、是等ノモノモ所謂營業ノ出來ルヤウニシテヤッテ、今ノ形勢ヲ變ラナイヤウニシテ行クト云フコトガ、赤字公債發行ノ消化ノ上ニ一番利益ヲ來スノデハナカラウカ、更ニ大キナ銀行ダケハ祿々検査モシナイデ、地方銀行ハ叱付ケテ検査スル、ア、云フ風ニ窘メラレテ行ケバ、貸付ハ出來ナクナリ、結局倒レテ行クヨリ仕方ガナイ、ソレデ遊金ガ出來タナラバ貸付ハ出來ヌ、公債ヲ持テト云フコトニナレ

バ、證券會社同様ニナッテ行クノデアルカラ、其點ヲ大體ニ於テ御質問ヲ申上ゲタノデアリマス、大藏大臣モ御立會デゴザイマシタ、大藏大臣ハ斯ウ云フ小サイ事實ハ御承知デハアリマスマイガ、アナタノ大藏省ノ管内ニハ、隨分地方ノ金融業者ニ對シテヒドク扱ハレル方モアルノデアリマス、是ハ決シテ惡イトハ申シマセヌケレドモ、少シハ斯ウ云フ赤字公債ヲ出シテ居ル時ニハ手加減ヲシテ、育テ、行クト云フヤウナ氣分ニナレト云フ御言葉添ヘヲ切ニ御願致シタイ、簡單ニ之ヲ以テ終ルコトニ致シマス

○岡田委員長 其次ハ中村君ニ許シマスガ、今少シ此儘待ッテ戴ケバ商工大臣ガ見エラレマスガ——中村君

○中村委員 此利得稅ノ創設ノ目的ニ付キマシテハ、總理大臣竝ニ大藏大臣ヨリ大體承リマシタ、又他ノ質問者諸君ノ御意見ニ對スル御答辯モ伺ヒマシタ、之ヲ要スルニ總理大臣ハ本稅ヲ作ッテ目的ハ、特別ノ利益ヲ得タモノカラ、一時的ニ、臨時的ニ稅金ヲ取ルンダト云フ御話デアリ、又大藏大臣ハ其趣旨デ、是ガ資本主義ニ對スル是正ヲ主張シテ居ルヤウナ人々ニ對スル思想的ノ立場ニモ、非常ニ有效ナモノデアルト云

フヤウナモノヲ附加ヘテ申サレテ居ッタノ
デアリマス、ドチラモ言葉ノ上デハ多少違
ヒマスケレドモ、御趣旨ハ最近ノ景氣ニ惠
マレタ者ニ對シテ特殊ノ税金ヲ取ル、斯ウ
云フコトニシテ居ルヤウデアリマスガ

〔委員長退席、松村委員長代理著席〕

其御趣旨ハ結構デアリマスガ、私ハ茲デ非
常ニ大キナ疑問ヲ有ッテ居ル、名前ハ所謂時
局ノ影響ヲ受ケタモノニ對シテ課税ヲスル
ト云フ美名ノ下ニ、所得税ニ對スル一般
ノ増税ヲ行ウテ居ル結果ニナッテ居ルノデ
ハナイカ、之ヲ私ハ非常ニ憂ヘル、元來利
得税ノ狙ヒ所ハ、時局ノ影響ヲ受ケタルモ
ノヲ狙ヒ所ニサレテ居ルサウデアリマス
ガ、サウデアアルトスルナラバ、其課税ノ對
象トシテ考ヘル場合ニハ、先ヅ私ハ二ツノ
方面カラ是ハ考ヘナケレバナラスト思フ、
第一ハ時局ノ影響ヲ受ケタル仕事ハドウ云
フモノデアルカ、詰リ其仕事ニ對シテ課税
ヲシテ行クト云フ見方、所謂業態別ニ利得
税ト云フモノハ課スルノガ當リ前デハナイ
カ、又一方ノ見方ハ、今御提案ニナッテ居
リマス所ノ利益ヲ根據ニ置イタ見方、即チ
七分以上儲カッテ居ルトカ、八分以上儲カッ
テ居ルトカ云フモノニ對シテ課税ヲスル、
所謂利得税ヲ課税スルノニ對シテ見方デ課税

シテ行クカ、或ハ軍需工業トカ、或ハ貿易
トカ、サウ云フ風ナ時局ノ影響ヲ受ケタ業
態ノニ縱ヲ見テ課税ヲシテ行クト云フコト
ニスベキカ、横ニ見テ利益ガ一割以上ナ
リ、七分以上ニナレバ之ニ對シテハ何業デモ
構ハヌ、所謂時局ノ影響ヲ受ケタモノト斷
定シテ、之ニ對シテ課税シテ行クカト云フ
先ヅ二ツノ見方ガ根本ニナラナケレバナラ
スト思フ、而シテ今御提案ニナッテ居ルノ
ハ、ドノ目標ヲ御採リニナツカト云フト、
縱ノ見方デハナイ、即チ時局ノ影響ヲ受ケ
タ仕事ニ對シテハ餘リ考慮ヲ拂ハナイデ、
單ニ一定ノ利益以上ヲ擧ゲタモノハ何デモ
カンデモ課税スル、サウ云フ結果ニナッテ
居ル、茲ニ私ノ言フ所ノ時局ノ影響ヲ受ケ
タモノニ對シテ、一時ノ課税ヲスルト云フ
美名ニ隠レテ、實際ハ所得税ノ一般の増税
ヲスル結果ニナッテ居ルノデハナイカ、斯ウ
云フ事ヲ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、
サウシテ先ヅ法人ニ付テ考ヘテ見マス、ソ
法人ハ年七分以上ノモノデアラナラバ、ソ
レニ對シテハ何デモカンデモ利得税ヲ取
ル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、法文ノ書キ
方ハ既往年度ノ平均利益ヲ超過シタモノニ
對シテ云々、既往年度ノ利益ガ七分ナカッタ
モノハ、七分ダケハ引イテヤルト書イテア

リマスケレドモ、之ヲ裏カラ逆ニ見マス
ト、七分以上儲タ者ハ全部利得税ヲ課ケ
ルノダ、但シ過去ニ於ケル利廻ガ七分以上
デアッタ場合ニハ、七分以上ノ利益金額ヲ
控除シテヤルノダ、斯ウナッテ居ル、是ガ先
程カラ論ジラレマシタ所ノ、此税金ガ非常
ニ不權衡デアリ、負擔ノ公平ヲ破ルノデハ
ナイカト云フ根本ノ原因ハ茲ニアルト私ハ
思フ、個人ニ付キマシテハドウカト云フ
ト、六千圓以上儲タ者ニハ全部利得税ヲ
課ケル、但シ既往年度ノ所得ガソレ以上デ
アッタ者ハ、ソレハ引イテヤル、逆ニ此利得
税法ヲ讀ンデ見マス、個人ニ付テハ所得
六千圓以上ノ人ニ對シテハ一般の増税ダ、
法人ニ付テハ、儲ケガ年七分以上儲カル者
ニ對シテハ一般の増税、斯ウ云フコトニナッ
テ來テ居ルト思ヒマスガ、先ヅ此點ニ付テ
ハ大藏大臣ハドウシテ業態別ニヤルト云フ
コトヲ御考ヘナラナカッタカ、此點ヲ先ヅ
一ツ御伺致シテ見タイト思ヒマス

○高橋國務大臣 此問題ハ政府委員ヲシテ
御答サセマス

○石渡政府委員 中村サンノ御尋ハ、第一
ニ本税ハ所得税ノ増税デアル、斯ウ云フ御
質問デアラウト思ヒマスガ、本税ハ決シテ
所得税ニ對スル一般の増税ト云フ譯ニハ

イカスト思フノデアリマス、無論其納税人
員カラ行キマシテモ、亦法人ニ致シテモ、
個人ニ致シテモ、一般のノ所得税ヲ納税ス
ル者ハ是ヨリ餘程多イノデアリマス、又今
仰シヤッタ七分以上ノ法人ニ對スル全部ノ
増税ト云フ、斯ウ云フヤウナ御考モアッタ
ヤウデアリマスガ、決シテ左様デハナイノ
デゴザイマシテ、ソレ以上所得ノアル會社
デアリマシテモ、儲ノ増大シテ居ナイモノ
ニ付キマシテハ課税致シマセヌ、隨ヒマシ
テ其點普通ノ所得税ト大ニ差ガアルト思フ
ノデゴザイマス、ソレカラ次ニ業態別ニド
ウシテシナカッタカ、斯ウ云フ御尋デゴザイ
マスルガ、業態別ニ之ヲ最初致サウカト思
ヒマシテ、色々考ヘタノデゴザイマスルガ、
要スルニ何ガ軍需品工業デアルカ、輸出品
工業デアルカ、是等ノ限界ハ極メテ困難デ
ゴザイマス、隨ヒマシテ之ヲ營業所得ニ限
定致シマシタ次第デゴザイマス、左様御諒
承願ヒタイト思ヒマス

○中村委員 今政府委員カラノ御答デ、七
分以上ノ利廻ノモノデモ法人中ニ指定サレ
ナイモノモアルカラ、一般の増税ト云ハレ
ナイ、斯ウ云フ御話デアリマス、ソレハサウ
云フ結果ニハナリマセウ、併シ所謂過去ニ
於ケル所ノ利廻ガ七分以上デアッタモノ、詰

リ現在ノ利廻ト過去ノ利廻ト餘リ間隔ガナ
イモノニ付テハサウ云フコトガ起ル、ソレ
ダケノ話デアル、少クトモ今七分以上ノモ
ノデアッテ、過去ニ於ケル利益ガ七分以下デ
アッタモノニ付テハ全部課税ヲスル、是ハ度
度議論モサレタコトデアリマスカラ、私ハ
繰返シテ申シマセヌガ、唯過去ニ於ケル利
益ガ相當デアッタモノダケガ免税サレル
トスレバ、ソレハ不公平ニナルト云フ根據
ニナリマス、ソレダケハ免税ヲサレテ、然
ラザルモノニ對シテハ少クトモ一般的ニ増
税ヲスル、又個人ニ對シテハ六千圓以上ノ
モノニハ課税ヲシ、ソレカラ過去ニ於ケル
所得ガ六千圓以上デアッタナラ免税ヲスル、
是ハ大體逆デアル、負擔ノ均衡ヲ破ッテ居
ルト云フコトハ是カラ生レテ來テ居ル、之
ヲ各業態別ニ見ナイデ、利益主義ニ行ッ
所ニ非常ニ大キナル禍根ガ生レテ來テ居ル
ト私ハ言ハナケレバナラヌト思フ、業態別
ニシテ課税ヲシテ行クナラバ、所謂總理大
臣竝ニ大藏大臣ノ言ハレタ時局ノ影響ヲ受
ケタルモノハ——ソレハ何處マデガ限界デ
アルカ分ラヌト言ヘバ分ラヌデアリマセウ
ガ、ソレハ常識デ決メテ行カレベキ筈デア
ル、ソレヲ全般的ニヤッテ行クモノデアアルカ
ラ、今マデ質問應答ヲ度々繰返サレテ居ッ

所ノ所謂新設會社デ、利廻ノ七分以上ノモ
ノニモ税ガ課ル、斯ウ云フ所ニ非常ナ禍根
ガアル、業態別ニシテ取ッテ行クト云フナラ
バ、其缺點ハ免ガレテ行クコトガ出來タカ
モ知レナイ、何業デモ構ハヌ、例ヘバ葬式
會社、或ハ大禮會館、或ハ結婚式ヲヤル會
社ト云フヤウナモノハ、何モ時局ノ影響デ
ソレガ殖エタリ減ッタリシタ譯デモナイ(笑
聲)併シ同ジ七分以上ダト云フコトデ行ク
カラ、直ニ引掛ッテ來テ、所謂時局ノ影響ヲ
受ケタモノ、中ニ包含サレテシマフ、茲ニ
矛盾ガアルノデハナイカ、又新設會社ニ付
テハ、七分以上ト云フ利廻ハ、松村君ニ言
ハセルト、所謂經濟界ノ一般的常識カラ考
ヘテモ、七分ヤ八分ノ儲アルノハ當リ前
デアアル、七分ヤ八分位儲カラヌヤウデ新設
會社ガ出來ル筈ハナイ、然ルニ七分以上ハ
課税スル、斯ウ云フコトカラ直ニ文句ガ起ッ
テ來ル、負擔ノ不均衡ガ起ッテ來ル、此點ガ
此利得税法ノ痛デアリマス、何デモ利益主
義ニ依ッテ課税ヲスルト云フ建前デ御出デ
ニナッタト云フコトガ、是ガ非常ナ痛デア
ル、其缺點ノコトハ他ノ人カラ言ヒマシタ
カラ私ハ言ヒマセヌガ、ソコデ斯ウ云フコ
トヲ考ヘテ見タイ、是ハ税制整理ノ前提デ
モナイト云フコトハ、屢々大藏大臣モ言ハ

レテ居ル、所ガ今度此税制ノ改革ヲ國策審
議會カ何カニ掛ケテヤルト云フヤウナ場合
ヲ考ヘテ見ルト、此利得税ガ狙ッタ所ノ七分
以上ニ對シテハ利得税ヲ取ル、所謂増税ヲ
シテ行ッタト云フモノヲ取除ケタナラバ、今
度ハ所得税ニ付テ整理ヲスル時ニ、身所ハ
何處ニアル、中身ハ殆ド之ニ取ラレテシマッ
テ居ル、唯率ノ上ゲ下ゲト云フコトダケハ
残りマセウガ、所謂負擔ヲ加重シテ行カウ
ト云フ狙ヒ所ト云フモノハ、殆ド此利得税
ノ中ニ包含サレテシマフ、七分以上ハ全部
課税ヲスルト云フコトガ包含サレテシマッ
テカラ、税制改正デモヤラウト言ッテモ、所
得税ニ關スル限リニ於テハ身所ハナクナ
テシマフ、此間本會議ニ於ケル税金ハ税制
整理ノ結果ハドウナルカト云フ私ノ質問ニ
對シテ、大藏大臣ハサウ云フヤウナ三千萬
圓ヤ四千萬圓ヲ考ヘテ居ッテハ、税制整理ハ
出來ナイト云フ御答辯デアッタ、洵ニ其通り
デアリマセウ、所ガ所得税ニ付テ之ヲ考ヘ
テ見マスト云フト、只今ノ所謂七分以上、
或ハ六千圓以上ト云フ所ガ、是ガ税制整理
ノ狙ヒ所デナクテハナラス、其大切ナ狙ヒ
所ト云フモノヲ利得税デ取ッテシマッテ、殘
ル所ハ何處デ増税ヲスル、率ノ上ゲ下ゲト
云フコトハ別トシテ、殆ド中身ハ取ッテシ

マッテ居ルト云フ裏カラ考ヘテ見テモ、此利
得税ト云フモノハ所得税ノ一般的増税デハ
ナイカ、斯ウ云フ議論ガ直ニ成立チ得ルノ
ダト思フノデアリマスガ、之ニ對シテハ當
局ハドウ云フ御考デアリマスカ
○石渡政府委員 本税ガ業態別デ行カナケ
レバイカヌ、斯ウ云フ中村サンノ強イ御主
張ノヤウデゴザイマスガ、是ハ私先程一應
御説明致シタノデゴザイマスケレドモ、ド
ウモ説明ガ不十分デ御諒解ノ行カヌノハ殘
念ニ思ヒマス、是ハ實際問題カラ御考下サッ
テモ、此税法ニ於テ或ル業態ヲ軍需品工業、
輸出品工業ト云フコトヲ指定スルコトハ、
實行ガ容易ニ出來ナイト思フノデゴザイマ
ス、此事ハ外國ノ立法例ニ於キマシテモ戰
時利得税施行ノ初ニ嚴密ニ戰時利得ト云フ
モノヲ區分致シタ例モゴザイマス、又或ル
業態ヲ列舉シタ例モゴザイマス、併シ是等
ハ何レモ皆實行上非常ニ混雜、紛雜ヲ致シ
マシテ、實行ノ出來ナイ破目ニ陥リマシタ
ノデ、斯ウ云フ増加税ニ於キマシテ業態ヲ
指定致スト云フコトハヤッテ居ラナイト思
フノデゴザイマス、業態ヲ指定致シマスコ
トハ、是ハ實際上ノコトヲ御考下サルト分
リマスガ、殆ド實行ガムヅカシイ問題ダト
私共ハ思ッテ居リマス、ソレカラモウ一ツノ

御尋デゴザイマスガ、所得税ノ増税ト言ハナケレバ、イカヌ、ドウシテモ是ハ所得税ノ増税デアル、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り昭和五年六年當時ノ利益ト、今回ノ利益トノ差額ニ課税致スモノデアリマスカラ、此點ハ十分御承知ノ通りデアリマシテ、普通ニ言ヒマス所ノ所得税ノ増税トハ、之ヲ同一視スル譯ニハ行カヌノデゴザイマス、又ソレナラバ普通ノ所得税ノ改正ノ時分ニ、是ダケガ増税ノ餘地ノアル點デアルノデハナイカ、此點ヲ外ニシタナラバ、一體何處ニ増税ノ餘地ガアルノカト云フヤウナ御尋デゴザイマスルガ、私共ノ考ヘマス所デハ、一般の税制整理ノ際ニ於キマシテハ、無論是等ノ問題モ對象ニハナリマスケレドモ、其他尙ホ研究致シマスレバ、増税ノ餘地ハ相當——増税致スト假定致シマスレバ、増税ノ餘地ハ相當見出シ得ルノデハナカラウカ、是ノミガ増税ノ主タルモノデハアルマイ、斯ウ信ジテ居リマス

○中村委員 水掛論ニナルヤウデスカラ議論ハ止メマス、兎ニ角業態別ニ行クコトハ困難デアツカラ、利益主義ニ基イテヤツタノダト云フ御議論デアル、サウスレバ時局ノ影響ヲ受ケナイモノモ本税ノ被害ヲ受ケ

ルコトハ、當然ノ結論トシテ是認サレナケレバナラヌ、時局ノ影響デナカタモノ迄モ課ケルノダ、サウナルト總理大臣ヤ大藏大臣ノ言ハレタ、時局ノ影響ニ依ッテ儲ケタモノカラ税金ヲ取ルノダト云フコト、ハ少シ違フト云フ結果ニナル、ソコノ所ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○石渡政府委員 時局ノ影響ヲ受ケタモノニ對シマスルニ——其増益ニ對シテ課税致シマスル方法ト致シマシテハ、實際問題トシテ此外ニ仕方ガアルマイ、斯ウ存ジテ居リマス、仰シヤル通り中ニハ葬儀會社、或ハ結婚會社等ガ、場合ニ依リマシテハ課税ヲ受ケルカモ知レマセヌ、併ナガラ時局ノ影響ニ依ッテ増益致シマシタモノニ對スル課税ノ致シ方ト致シマシテハ、是ヨリ外ニナカラウト存ジテ居リマス

○中村委員 此問題ハ其位ニシテ置キマスガ、即チ利益主義ニ基カレタ結果トシテ、新設會社ト既設會社トノ間ノ負擔ノ不均衡、ソレカラ此前私ガ本會議デモ質問致シマシタ金融資本ト産業資本トノ不權衡、御承知ノ通り金融ノ方ハ、利益ノ割合ハ割合ニ動搖シナイ、動搖シナイノデアルカラ利得税ト云フモノ、負擔ガ非常ニ輕クナル、産業資本ノ方ハ、殊ニ昭和五六年ノ國家ノ

政策ニ依ッテ被害ヲ受ケタト云フモノハ、今當リ前ニナッテ來テ居ル、其時ハ被害ノ絶頂デアッテ、今ハ當リ前ニナッテ居ルカラ、今税金ヲ取ラレル、斯ウ云フ缺點モ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フコトニ矢張行カナケレバナラスト云フ結論ニナルヤウデアリマス、ソレハ多少ノ缺點ハ已ムヲ得ナイト云フコトハ、是ハ税制ノ技術上、或ハ仕方ガナイカモ知レマセヌ、其點ニ付テハ已ムヲ得ナイガ、缺點ハアルノダト云フコトヲ御承知デアリマセウカ

○石渡政府委員 中村サンノ御尋ガ、金融資本ニ寛デアッテ、産業資本ニ酷デアルト云フ結果ニ相成リハシナイカ、斯ウ云フ御尋デアツタト思ヒマスルガ、本法案ハ一切金融資本タルト産業資本タルトヲ問ハズ、昭和五六年當時ト比較致シマシテ、其差額ヲ見出スノデゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ別段是ガ金融資本ヲ擁護スルモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○中村委員 ソレハ政府ガ金融資本ヲ擁護サレルト云フ風ニ私ハ言フノデハナイ、此税法ノ適用ノ結果ガサウ云フ風ニナル、斯ウ言フノデス、サウ云フ缺點ガアル、是ハ新設會社ト既設會社、或ハ金融資本ト産業資本、サウ云フモノ、間ニハ此税法ヲ其儘

適用スルト云フコトニナレバ、避クベカラザル缺點ガソコニ起ッテ來ルノダ、ソレハ已ムヲ得ナイ、即チ業態別ニヤル譯ニハ行カナイカラ利益主義デアルノダ、其位ノ缺陷ハ已ムヲ得ナイノダ、斯ウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルノカドウカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス

○石渡政府委員 金融資本ニ對シテ此課税ガ特別ニ緩ク實際上當ルモノダトハ考ヘテ居リマセヌ、唯利益ノ歩合ガ減テ參リマスレバ、其結果ハ産業資本デアラウト金融資本デアラウト、從テ課税ヲ受ケナイ場合ガ生ズルカモ知レマセヌ、本案ニ依リマシタモ相當金融業者モ負擔ヲ致ス見込デアリマ

○中村委員 其問題ニ付テハ本會議デ私ガ申上ゲタ通り、統計ニ據リマス金融資本ノ昭和五六年ノ利益率ト云フモノハ、平均八分九厘バカリニナッテ居ル、是ハ勿論積立金ハ入ッテ居リマセヌ、資本金ニ對スル利益割合デス、商工業ノ方ハ一萬バカリノ會社——商工省ノ統計デヤツタノデスガ、四分八厘、勿論兩方共積立金ヲ入レテノ計算デハアリマセヌカラ、的確ナコトニハナリマセヌガ、併シ約金融資本ノ方ガ産業資本ノ方ノ倍ノ利廻ニナッテ居ル、此傾向カラ考ヘ

テ行ケバ、此利得稅法ヲ適用シテ結果トシテハ、矢張金融資本ノ方ハ七分以上デスカラ、餘計ニ控除金ガ出テ來ル、産業資本ノ方ハ殆ど七分以下ダカラ、其行止リノ七分以下デ止ッテシマフ、ダカラ金融資本ノ方ガ多クナル、詰リ業態ニ從テ斯ウ云フ不權衡ナ結果ニナッテ來ルコトハ、既設會社ト新設會社トノ不權衡ノ問題ト同様デアアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマスガ、如何デスカ

○石渡政府委員 昭和五年、六年當時ニ於キマシテ、利廻ノ高カッタモノハ比較的少ク負擔ヲスルノデハナイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、御承知ノ通り金融業者ハ積立金等ニ於キマシテモ相當多イモノデアリマスノデ、中村サンノ御手許ニアリマस्याウナ積立金ヲ含マナイ數字ヲ以テ一概ニ論斷致スコトハムヅカシイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、新設會社ノ御尋モゴザイマシタガ、是モ昨日松村サンニ御答致シマシタ通り、新設會社モ是ハ七分ノ利廻ニ見ル、總テ七分ノ利廻ニ見ルノデアリマシテ、格別其間ニ差別ヲ致シテハ居リマセヌ、隨ヒマシテ如何ナル會社デアリマシテモ、昭和五年、六年當時ニ七分以上儲カッテ居ッタモノハ、ソレダケ引カレル、斯ウ云フ

結果ガ現ハレテ來ル、斯ウ云フコトデアリマス、モウ一ツハ今日儲カッテ居リマスル儲ケ歩合ニモ依ルコト、思ヒマスガ、其當時ノ儲ケ歩合ガ比較的利廻ガ良ク廻ッテ居リマシタ所デ、今日ソレ以上ニ儲カッテ居リマスモノハ、矢張本稅ヲ相當ナ負擔ヲ致ス、斯ウ云フ譯ニナル次第グラウト存ジマス

○中村委員 其議論ハ其位ニシテ置キマシテ、今度ハ大藏大臣ニ一寸御伺シタイノデスガドウセ國策審議會等ニ於キマシテ、稅制ノ根本的整理ト云フコトハオヤリニナルグラウト思ヒマスガ、何レハ此所得稅ト云フモノガ、國稅トシテノ中心ニナルベキモノデヤナイカト考ヘテ居リマス、地租トカ收益稅トカ云フモノハ補完稅ノ形デアアル、斯ウ云フモノモ或ハ地方ニ委讓スルト云フヤウナ問題モ起ッテ來ル、所ガ國策審議會デ稅制ノ整理ヲヤラル、ト云フ場合ノ中心ガ、所得稅ノ問題ト、斯ウナッテ來タ場合ヲ考ヘマス時ニ、此臨時利得稅ト云フモノヲ施行セラレマシタ結果、所得稅ノ負擔ヲ加重シテ行クベキ目標ト云フモノハ、殆ど是デ狙ヒ盡サレタ、斯ウ云フコトニナッテ行ケバ、名前ハ是ハ臨時利得稅デアリマスケレドモ、先程モ申シマシタヤウニ、是ハ所得稅ノ一ツノ増稅デアアル、即チ稅制整理ノ前

提デアアル、斯ウ云フコトニナッテ來ルノデアラウト思フノデアリマスガ、其點ハ大藏大臣如何ニ御考デアリマスカ

○高橋國務大臣 今ノ點ニ對シテハ、御話ノ通り他日審議會ト云フモノガ出來マスレバ、其審議會ニ於テ、稅制ノコトバ一般ニ互ッテ攻究スルコト、ナラウト思フ、ソレ故ニ私ハサウ云フ場合ニ於テハ、私ノ從來ノ考ト云フモノハスッカリ捨テ、シマフ、若シ私ガソレニ關係デモアッタナラバ——衆智ヲ集メテ時勢相當ノ案ガ立ツデアラウ、ゾレヲ自分ノ私心ヲ去ッテ公平ニ見タイト思フ、成程從來私ガ稅ノ改正ヲシテ行カウト思ッタ時分ノ考ハ、國稅トシテハ所得稅ガ中心デアアル、是ダケデハ公平ナ稅ガ課ケラレナイカラ、之ニ補足スル爲ニ財產稅——所得稅ト財產稅ト云フモノヲ併セテ、之ヲ先ヅ中心トスルト云フ考ヲ有ッテ居ッタノデアリマス、今デモ自分ノ考トシテハソナ考ヲ有ッテ居リマスケレドモ、此場合審議會ガ設ケラレヤウト云フ考ノアル時ニ於テ、私ハ將來ニ互ッテ、此稅制ノ改正ノ方針等ニ付テ、私見ヲ述べタクナイ

○中村委員 只今私ガ御尋ヲ致シマシタノハ、其將來ノ稅制整理、是ハ高橋サンノ御考ノミニ限ラズ、誰ガ考ヘテモ將來ノ日本ノ稅制ノ、國稅トシテノ中心ガ所得稅デアラウト云フコトハ、是ハ分リ切ッタ話デアアル、其所得稅ニ臨時利得稅ト云フ名前ヲ以テ一大斧鉞ヲ加ヘタ、一大斧鉞ヲ加ヘラレテ居ッテ、モウ増稅デモスルト云フ狙ヒ所ト云フモノハ、是デ食ッテシマッタ、斯ウ云フコトニナッテ居ルト云フコトデアアルナラバ、稅制整理ノ第一歩ニ入ッテ居ルノデヤナイカト、斯ウ私ハ思フ、臨時利得稅ト云フモノハ、稅制整理ノ前提デモナケレバ、一般的増稅デモナイト、斯ウ仰シヤッテ居ルケレドモ、事實上ハ其處ニモウ喰込ンデ行ッテ居ルノデハナイカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、其點ダケ簡單ニ御答願ヒマス

○高橋國務大臣 私ハサウ思ッテ居ラヌノデアリマス、故ニ私ハ言ッテ居ル通り白紙ヲ以テ臨ム、此臨時利得稅ガ他日ノ所得稅ヲ定メル其計畫ニ喰込ンデ居ルトハ私ハ思ッテ居ラス

○中村委員 ソレハ御意見ノ相違デアリマセウカラ、是レ以上ハ追究ヲ致シマセヌ、併ナガラ私ノ今申シマシタ通り、業態別ノ取方ニ依ラレナイデ、一般的ニ七分以上トカ、六千圓以上トカ云フモノカラ、利得稅ヲ取ルト云フコトニナッテ居リマス、結果トシテハ矢張一ツノ一般的ノ増稅ヲヤッテ居

ルト云フ結果ニナッテ居ル、ソレデアルカラ矢張税制整理ノ前提デアル、併シソレハ意見ノ相違デアルカラ、ソレハ止メマス、サウデアレバ、大藏大臣ハ最近問題ニナッテ居リマス地方農村ニ對スル財政調整交付金――是ハ高橋サンハ、元ノ考ヲ以テシマスルナラバ、地租ヲ委譲シテ、獨立ノ財源ヲ地方ニヤッタ宜カラウト云フ御意見ヲ御有チニナッテ居ッタヤウデアリマスガ、只今デモ矢張サウ云フ御考ヲ御有チニナッテ居リマスカ

○高橋國務大臣 只今ハ之ヲ直チニ實行シテ宜イトハ思ッテ居リマセヌ、事情ガ非常ニ變テ來タ、過日モ申ス通り、地方ノ農村――市町村ニ付テハ、其自治體ト云フモノ、

先ヅ基礎ヲ拵ヘナケレバナラヌ、其上デノ考デアッテ、今地租ヲ委譲シタラ、是デ農村始メ總テガ好クナルカト云フ其見込ハ立タナイ、先日モ申ス通り、與ヘレバ與ヘル程不足ヲ懸ヘルト云フ有様デアル、兎ニ角地方團體ニ自力デ更生スルト云フ精神ヲ作興サセナケレバナラヌ、ソレヲ私ハ地形ト稱ヘテ居ル、其地形ガ出來タ上デ家ヲ建テナケレバナラヌ、審議會ニ於テ一般財政ノ事ヲ議スルニ當ッテモ、地方ノ事ヲ固ヨリ考慮ノ中ニ入レナケレバナラヌ、矢張私ハサウ

云フコトニナルノデヤナカラウカト考ヘテ居ル、ソレデヤ今此儘地方ニ何モ與ヘナイデ済ムカト云ヘバ、私ハ自分ノ考デハ、審議會デ假令其法案ガ立ッテモ、此法案ヲ實行スル時ニ當ッテハ、從來ノ病ヲ癒ス爲ニハ、一時國ガ其地方ノ負擔ヲ代ッテ持ッテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ場合モ起リ得ルト思フ、サウ云フ恆久ノ政策ヲ立ツルニハ、先ヅ兎ニ角地方ガ是ダケノコトヲヤッテヤレバ、是カラ先ハ却テ國家ノ根ヲ養フノダ、斯ウ云フモノニナルノダト云フ安心ガ出來ナケレバナラヌ、其上ノコトガラウト思フ

○中村委員 只今ノ大藏大臣ノ御説ハ、私モ洵ニ御尤デアルト思ヒマス、併ナガラ今日ノ農村ノ狀態ハ、審議會ヲヤッテ、サウシテ其結果根本ノ方策ヲ立テ、ソレカラソレヲ實施シテ宜シイト云フ程デハナイ、モット窮迫ヲシテ居ルノデアル

〔松村委員長代理退席、委員長著席〕
斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ所謂地方財政調整ノ交付金トシテ、是ハソレ程ハキリハ豫算總會等ニ於テモ御答ニナッテ居ラレナイヤウデアリマシタガ、總理大臣ハ此間豫算總會ノ時ニ、島田サンノ質問ニ御答ニナッテ、政府ト

シテハ出來ルダケノ最善ノ努力ヲスルト云フコトヲ仰シヤッテ居リマス、其意味ハ、此地方財政調整交付金ト云フヤウナモノハ、國策審議會ニ基イタ所ノ方法ガ立ツマデ、所謂繋ギノ方法トシテ、何等カノ方法デヤッテヤラウト云フ御誠意ガアルノガラウト、斯ウ考ヘテ居リマスガ、其點ハ總理大臣如何デゴザイマスカ

○高橋國務大臣 一寸私カラ補足シテ置キマス、今ノ審議會ニ掛ケルノハ、是ハ御話ノ通り恆久ノ政策ヲ立ツル爲デアル、ソレナラバ其間捨テ、置イテ宜イカト云フト、決シテサウ云フ考デ言ウテ居ルノデナイ、ソレハ應急ノ手當ハシナケレバナラヌ、應急ノ手當ヲスルニ付テモ、今ノ交付金ト云フヤウナ問題ニ付テ、其基礎ヲ私ハ調ベテ見タガ、私ノ考ヘル所トマルデ違フ、從來ノ如ク矢張總花式ニ金ヲヤルノダ、是デヤ如何ニ應急ノ手當ト云ッテモ、餘リニ國費ヲ浪費スルヤウナコトニナル、唯國費ヲ浪費スルニ止マルナラバ宜イケレドモ、其上地方民ヲシテ益、中央ニ信賴シ、依頼心ヲ起サシメ、自ら奮起シテ更生ノ途ニ邁進スルト云フヤウナ精神ガ益、薄ライデ來ル、斯ウ私ハ心配シテ居ル、ダカラ決シテ此審議會ヲ終ルマデハ、何モシナイト言フノデヤナイ、

應急ノ手當ハ無論シナケレバナラヌ、ソレニ付テモ、此交付金ト云フノハモウ既ニ言古シニナッテシマッテ、此遣方ガドウカト云フト、矢張總花式デアル、唯貧弱町村ト他ノ市町村ト少シ違フ、或ハ東京ノ市ノヤウナ處ニモ矢張行カナケレバナラヌ、横濱ノ市ニモ行カナケレバナラヌ、ソレナラ横濱市ト東京市ト一體市民ノ負擔ガドウナッテ居ルカト云フト、負擔ハ大變ニ横濱ノ方ガ重クナッテ居ル、サウ云フヤウナコトハ一向調ベモ付カズ、唯モウ附加税ノ割合ダトカ、或ハ國税ノ負擔ノ割合ダトカ云フモノカラ比例シテカラニ、總テノモノニ總花式ニヤルト云フノガ從來ノ弊デアッテ、之ニ對シテ、此上此國費多端ノ上ニ金ヲ出シタクナイ、出スナラバ有效ナ用ヒ方ニシタイ、ソレニハドウカト云フト、過日來總理大臣モ言ハレタ通り、今回ノ豫算デ應急ノ手當ハ出來ルト云フ確信ハアルケレドモ、併ナガラ尙ホ實際ニ即シテ必要ナコトハ考慮サレルト言ハレテ居ルノデアリマス、此實際ニ即スルト云フコトガ、今私ガ申シタ通り、地方ニ依ッテ、村落ニ依ッテモ皆其困窮ノ仕方モ違フ、之ヲ又應急ニ手當ヲシテヤッテ、彼等ノ精神ヲ作興サセル途ニ於テモ違ハナケレバナラヌ、何レニシテモサウ云フコトヲ擔當スル人ガ現レナ

ケレバナラス、然ルニ幸ナル哉今日ハ地方ノ青年ノ中ニハ、頼マレモセズシテ自ラ奮起シテサウ云フコトヲヤッデ、農村ノ振興ヲ圖ッデ居ル者モ少カラズアルノデアリマス、サウ云フ者ニ倣ッデ私ハ行キタイト考ヘマス

○中村委員 交付金ニ關スル大藏大臣ノ御意見ハ私モ同感デス、サウ云フ考デ交付金ヲヤラナケレバйкаスト云フコトヲ私共ハ主張シテ居ル、唯總花式ニ幾ラカ餘計ニヤッデヤラウ、サウ云フヤウナモノガ今日マデノ或ハ交付金ナドノ弊害デアルト私モ考ヘマス、是等ノ點ニ付テハ確ニ是ハ是正ヲシナケレバナラス、サウ云フヤウナ金ヲ餘計取ッテ來ルト、村長ノ名譽ダトカ、町會議員ノ名譽ダトカ云フコトニナッテ、或ハソレガ事業ヲスル資金ニ用ヒラレ、事業ヲスルト請負師ト結託ヲスル、サウシテ其費用ヲ濫用スル、サウ云フ弊害ガ確ニアリマス、アリマスケレドモ、今日私共ガ言ウテ居ル所ノ交付金ト云フモノハ、サウ云フ豫算ヲ膨脹セシメルト云フ意味ノ交付金デハナイ、今日ノ貧弱町村ト云フモノガ本當ニドレダケ困ッデ居ルカ、隨テ又負擔ト云フモノガドウ云フヤウニナッテ居ルカ、私モ、今負擔ノコトヲ御話ニナリマシタカラ、調べテ見タ材

料ガアリマスガ、非常ナ不權衡ガ六大都市ト郡部ト、其他ノ市トノ間ニハアルノデアリマス、ソレヲ國家ノ力デ何トカナダラカニヤッデ行クト云フコトハ、是ハ極メテ必要ナ事デヤナイカ、サウシテ負擔ノ輕減ニ充テル、仕事ヲサセルトカ道ヲ附ケルトカ、サウ云フコトノ交付金デヤナイ、昭和三年カラ六年ノ統計ヲ作ッテ見マシタガ、郡部所謂町村ニ於キマシテハ、直接國稅ヲ百ト見テ計算シテ行キマス、昭和三年ニハ郡部ハ三百九十六ト云フ數字ガ出テ居リマス、直接國稅百ニ對シテ、所謂府縣稅、市町村稅ヲ合セマス、合計三百九十六ト云フコトニナッテ居ル、即チ國稅百ニ對シテ二百九十六、殆ド三倍ノ町村稅ヤ府縣稅ヲ負擔シテ居ル、然ルニ六大都市ハドウカト云フト、是ハ昭和三年デアリマスガ、國稅百ニ對シテ八百五十八ニシカナッテ居ラス、タッタ五十八シカ負擔シテ居ラス、ソレカラ六大都市以外ノ市ハドウカト云フト、國稅百ニ對シテ府縣稅、市町村稅ヲ合セテ二百五十七、即チ百五十七負擔シテ居ル、是ガズツ續イテ來テ居ル、殆ド増減アリマセヌ、斯ウ云フ狀態デ、却テ昭和六年ノ、近イ所デ見マス、郡部デハ直接國稅百ニ對シテ四百八ト云フモノヲ負擔シテ居ル、是ハ恐

ルベキコトデアアル、サウシテ段々郡部ノ方ノ負擔ト云フモノハ重クナッテ居ル、六大都市ハドウカト云フト、昭和六年デ國稅百ノ外ニハ七十九シカ負擔シテ居ラス、百七十九ノ負擔デアアル、其他ノ市ハドウカト云フト、國稅百ニ對シテ二百七十五、即チ附加稅百七十五シカ負擔シテ居ラス、此狀態ヲ此儘ニヤッデ置クト云フコトハ、是ハ非常ニイケナイコトデアアル、私共カ交付金ノ問題等ヲ叫ビマスノハ、事業資金ヲドウ斯ウセヨト言フノデハナイ、勿論其使途ハ嚴格ナ規定ヲ設ケテ、之ヲ外ニ融通スルヤウナコトハ出來ナイヤウニシナケレバナラス、是ハ大藏大臣ト一點變ラス、ガ今ノ現狀ヲ、一方ハ四百モ負擔シテ居ルノニ、六大都市ノ如キハ百七十九デ濟ンデ居ル、之ヲ見遁シテ置イテ、負擔ノ均衡モ何モ私ハアツモノデナイト考ヘル、國稅地方稅ヲ通ジテノ稅制整理ト云フ事柄モ此處カラ出テ來ルト私ハ思フ、即チ之ヲ此儘ニシテ置イテ、負擔ヲ愈、以テ郡部ノ方ニ重クシテ置キマスカラ、今度ハ附加稅ガ多イカラ、金持ノ者ハ皆東京ヤ、名古屋ヤ、安イ處ノ方ニ籍ヲ變ヘテシマフ、金持ハ皆村ニ居ラナクナル、ソレダカラ稅金ガ取レナクテ、益、貧乏ニナッテ、所謂農村ノ疲弊ト云フコトハ、斯ウ

云フ事柄モ非常ニ大キナ原因ニナッテ居ルト思フ、サウ云フ人ガ居ッデ呉レ、バ、餘程市町村ノ財政ガ樂ニナルガ、サウ云フ人ハ早速逃出シテシマフ、ソコデ私共ハ此負擔ノ均衡ハドウシテモヤラナケレバナラスガ、差當リ應急ノ施設トシテハ、所謂國策審議會デ、稅制ノ整理モアリマセウ、又根本的ノ農村對策モ立チマセウガ、ソレマデニ至ル期間中ダケハ、何トカセナケレバナラスデハナイカ、所謂大藏大臣ノ負擔ノ不均衡ト云フヤウナ點ヲ直スト云フ意味ニ於テノ、繋ギノ交付金制度ト云フモノハ、是ハ已ムヲ得ナイデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、大藏大臣ハソレハ何トカシナケレバナラスト仰シヤツタ、何トカシナケレバナラスト云フコトハ、結局追加豫算デモ出スト云フヤウナ御意思デアルカ、或ハ新聞等ニ依ルト、低利資金トカ云フヤウナ御話モアリマシタガ、其邊ノ思召ハ如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 ドウカ此交付金ト云フ名前ハモウ止メタラドウデスカ

○中村委員 名前ハ何デモ構ヒマセヌ

○高橋國務大臣 何トカシナケレバナラスト云フコトハ考ヘテ居ル、即チ實際ノ實情ニ即シテ已ムヲ得ヌコトハ考慮シテヤルト

云フコトニナッテ居ルカラ、遺方ニ付テハ約メテ言ッたら、何デセウナ、是ハ資金ノ融通、ソレカラ一方デハ國カラノ補助、結局其ニツニ止マル、而シテ是ハ今ノ交付金ト稱ヘラレテ居ルヤウニ、ズツ總花式ニヤルノデバナイ、ソレハ弊害ガアルカラ止メナケレバナラヌ、今御話ノ通り私モ事實ハ見テ居リマス、地方民ノ負擔ハ中々不公平ナモノデス、此地方民ノ負擔ノ不公平ヲ直スト云フコトハ、根本的ニ直スト云フコトハ、是ハ審議會ニ俟タナケレバナラヌト思フ、併ナガラ應急ノ手段トシテハ、今申ス通り資金ノ融通、國家ノ補助、此ニツニ歸著シヤセヌカト思フ

○中村委員 大藏大臣ノ御話デ大分諒解致シマシタ、何トカシナケレバナラヌト云フ點、及唯總花式ニヤッデハイカヌト云フ點、是ハ私モ全ク同感デアリマス、所ガ今其ヤル方法トシテ國家ノ補助ト資金ノ融通ト云フニツヲ御舉ゲニナツタ、補助ト云フノハ所謂交付金ノヤウナモノダラウト思フノデスガ、ソレハ名前ハ何デモ構ヒマセヌガ、資金ノ融通ト云フコトニ付テ私ハ、多少疑ヲ有ツ、最近政府ノ豫算ヲ見マス、豫算ト低利資金ノ融通ト云フモノガ何時デモクッ付イテ來テ居ル、

是ハ最近殊ニ其傾向ガ激シクナツタ、高橋大藏大臣ニナッテ激シクナツタノデヤナイカト思フ程、何時デモ此低利資金ガクッ付イテ居ル、災害豫算ノ如キモサウデアリマス、二億一千萬圓カ二千萬圓ノ豫算ニ對シテ、低利資金ノ融通ト云フモノガ二億圓モクッ付イテ來テ居ル、兩方併セテ見ルト云フト四億圓、是ハ一體豫算主義ト云フ建前カラ見マシテ、果シテ宜イコトデアルカドウカ、此低利資金ト云フモノハ、別ニ豫算審議會ニ掛ッテ行クモノデヤナイ、運用委員會ニハ掛リマセウケレドモ、公然タル國家ノ機關ニ依ッテ是ハ議セラレルモノデヤナイ、然ルニ拘ラズ、豫算ヲ出ス半面ニ於テ、必ズ低利資金ト云フモノガクッ付イテ來テ、低利資金ト豫算ト合併シテ審議シテ見ナイト云フト、本當ノ財政ノ運行ハ分ラヌト云フ恰好ニナッテ居ル、是ハ餘程警戒スベキコトデヤナイカト考ヘル、然ルニ最近ニ於キマシテ、政府ハ政府貸付金ノ善後處理ノ法律案ヲ出シテ利子ヲ負ケテヤルカ、元金ヲ負ケルカ、斯ウ云フ方面ニモ苦心シテ居ラレル、斯ウ云フ弊害ガ段々低利資金ニ出テ來ナイトハ何人モ保證出來ヌ、然ルニ只今伺ヒマスと云フト、此町村財政ノ窮乏ヲ補フト云フ意味ニ於テ、交付金ト云フ名

前ハ廢メヨウデヤナイカ、ソレハ宜シウゴザイマスガ、其外ニ資金ノ融通ト云フコトヲ仰シヤツタ、是ハ營利事業ニ對シテ——營利ト云フトオカシイノデスガ、儲ケル仕事ニ對シテ、資金ヲ出シテヤッデ、一面ニ於テ貧乏人カラ集ッテ來テ居ル預金部ノ金ノ管理ヲ全ウスルト云フ意味ナラ宜イノデスケレドモ、此地方財政ノ窮乏シテ居ル際ニ、負擔ノ不權衡ヲ直シテヤラウト云フヤウナ爲ニ出ス金ト云フモノハ、之ヲ儲ケ仕事ニ出ス金ト同ジヤウニ考ヘテハイカヌト思フ、サウデアアルナラバ、性質上カラ鑑ミテ、低利資金ヲ廻スト云フヤウナコトハ、是ハ預金部ノ金ノ性質カラ一體ハイケナイノデヤナイカ、同時ニ又ソレヲ貸シタ金ト云フモノハ恐ラク取返サウト云ウタ所デ、是ハ取返シガ付カヌト云フコトハ前以テ決心シテ出サナケレバナラヌ、サウデアアルナラバ尙更預金部ノ金ヲ融通スル、所謂資金ヲ融通シテヤルト云フヤウナコトハ、是ハ中々色々ナ弊害ヲ生ジテ來テ、行フベキモノデヤナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ニ付テ大藏大臣ハ如何ナル考ヲ御有チデアリマセウカ

○高橋國務大臣 是ハ一般的ニ斯ウ云フ方法ヲ用ヒルト言ッタナラバ矢張弊害ガ出マス、併ナガラ是迄模範ノ農村トナッテ居ル所ノ調査報告ナドヲ受ケテ居リマス、或ハ五年掛リ、七年掛リ、中ニ八十年モ掛ッテ、僅カ五百戸ソコノ村デ四五萬圓モ負債ヲ有ッテ居ルモノガ、其間ニ自力更生デ以テ負債ガ無クナッテシマツタ、斯ウ云フ模範トナルヤウナモノガアルノデアリマス、併シ是ハサウ云フ篤志家ガ出テ働イテ呉レナクチャイカヌ、是等ノ働キヲ見ルト云フト、皆精神ヲ打込ム、農村ノ人達ニ健全ナル二宮尊德翁ノ遺シヤウナ精神ヲ先ヅ打込ムノガ元デ、其精神ヲ元ニシテ農民ヲ起タセル、サウシテ節約スルモノハ銘々節約シ、稼イデ富ヲ起ス者ハ起サウナ途ヲ歩カセテ、サウシテ辛苦シタ揚句、其村ノ負債ノ五十萬圓モ返シテ、今日ハ不景氣デアルケレドモ、他ノ村ト比較スルト云フトソレ程困ッテ居ラヌト云フヤウナ成績ヲ擧ゲテ居ル、ソレ故ニ只今私ノ申シタ資金、是ハ其場合ニ依ッデハ一時高イ利息ノ金ヲ借りテ居ッテ、其元利ヲ背負ッテハ此村ハ立ッテ行ケナイ、如何ニ精神ヲ作興サセ、所謂前途歩ムベキ途ヲ其處ニ指示シテ見タ所デ、迎モ此重ミヲ背負ッテハ歩ケナイノダト云フ場合ニハ資金ヲ貸シテヤル、ソコデ利息ノ負擔ガ出來ナイ、元金ハ何十年カ後

ニハ返セル目度ガ立ツ、併シ利息ハ連モ負擔ガ出來ヌト云フモノハ、即チ國家ガ補助シテヤラナケレバナラヌト云フヤウナ場合モアル、是ハ唯例ヲ擧ゲテ言フノデス、國家ノ補助ト云フモノ、資金ト云フモノハドウ云フモノデアルカ、貸ス資金ハ必ズ返ス目度ガナケレバ貸ス譯ニハ行カナイ、併シ其貸スニ付テモ利息ガ安クナクテハイカヌ、或ハ利息ガ付イテハ困ルト云フヤウナ事情モ起ツテ來ル、其時ニハ國ガ利息ノ補給ヲシテヤル、或ハ利息ダケハ全部國ガ補給シテヤルトカ云フヤウナ方法ヲ立テネバナラヌ必要モ起ツテ來ルカモ知レヌ、ソレ故ニ此農村ノ更生ノ途ヲ圖ルニ於テ國ニ求ムルモノハ何カト云フト、結局資金ト補助ト、此二ツニ歸著シハセヌカト私ハ考ヘテ居ル、其意味ニ於テ申上ゲタノデアリマス

○中村委員 マダ少シハッキリシマセヌガ、其資金ノ融通ト云フノハ、町村自體ニシテヤルト云フノデスカ、或ハ町村内ノ借金ヲシテ居ル組合トカ團體トカ、サウ云フモノニシテヤラウト云フノデスカ、ドチラデスカ

○高橋國務大臣 ソレハ其時ノ事情ニ依ルノデスガ、先ヅ大體カラ言ヘバ、町村ガ借財ヲシテ自ラ借りルカ、或ハ町村ガ其借財

ガ出來ナケレバ縣ガ縣債ヲ起シテ金ヲ拵ヘテ、其町村ニ貸シテヤルカ、又縣ガ出來ナケレバ即チ國ガ貸シテヤル、斯ウ云フヤウナ順序ニ行クノデハナイカト思フ、必シモソレハ型ニ嵌タモノデハナイノデス

○中村委員 ドウヤラ私ハ斯ウ云フ風ニ解釋シタ、詰リ其交付金ト云フモノハ廢メテ、低利資金ノ融通ヲ村ニシテヤル、サウシテソレハ貸シテヤルコトノ出來ル目度ノ付クヤウナ村デナケレバ貸サヌ、但シ利子ニ付テハ利子支拂ノ困難ナル町村ニハ補給シテヤル、斯ウ云フ風ニ承リマシタ、サウナルト貧弱町村デ非常ニ困ツテ居ル町村ハ、其元金ヲ返セルヤウナモノデハナイト私ハ思フ、サウシマス高橋大藏大臣ノ御考デ行クト、富裕ノ町村ニハ貸セルカモ知レヌケレドモ、貧弱町村ニハ却テ貸セナイコトニナル、サウスレバ所謂貧弱町村ノ苦痛、負擔ノ過重ト云フヤウナコトハ、チットモ其方法デハ取除クコトガ出來ヌト云フコトニナリハシマセヌカ

○高橋國務大臣 ソレダカラ初カラ御斷リシテアル、唯一例ヲ擧ゲルト言ツテ居ル、其一例ヲ以テ全般ニ行フ方法ト取ツテ、アナタハ議論ヲシテ來ルカラ、ソレデハ議論ハ盡キナイ、貧弱町村ハ借財モ出來ナイガ、國

トシテハドウシタツテ其貧弱町村ヲ破産サセル譯ニハ行キマスマイ、ソレダカラソレハ病ガ重イ、其重イ病ニ對シテハ、又ソレダケノ治療方法ヲ考ヘナケレバナラヌ

○中村委員 ソコ迄ハ一致スルデスガ、資金ノ融通ト仰シヤルモノデスカラ、所謂ソレデ辦濟スル能力ノナイヤウナ所ニハ貸セナイ、貸セナイヤウナ所コソ救フ必要ガアル、斯ウナッテ來ル、其處ガ問題デス、ソコデヤハリ補助金ト云フカ交付金ト云フカ、サウ云フ金ハモウ取ラヌ、ソレハ返サヌデモ宜イト云フ位ノ決心ヲ持タナケレバ、町村ハ到底救ハレナイト云フコトニナル、ソコデ交付金ト云フ名前ハモウ廢メタラ宜カラウト云フ御話デアリマスガ、名前ハ何デモ宜イ、補助金デモ結構デアリマスガ、矢張サウ云フ施設ヲ講ジテ行クノガ當然デヤナイカ、然ルニソレヲ預金部ノ資金ヲ廻シテ、ソレヲ援ケニ行カウナド、云フコトハ、是ハ非常ニ危險ナ仕事デアル、預金部ノ資金ト云フモノハ、零細ナル人々ノ資金ヲ集メテ作ッタ金デアル、此預金部ノ金ニシタ所ガ、今日ドレダケ焦付イテ居ルカ、是ハ一々當ツテ見タナラバ相當寒心ニ堪ヘナイ點モアリハセヌカト私ハ思フ、サウ云フ時ニ此貧弱町村ヲ救フノニ預金部ノ金ヲ

持出シテ、ソレヲ貸シテヤツテ、吏員ヲ遣ツテ取立テルト云フコトデハ、預金部ノ金ヲ廻ス、預金部ノ金ト云フ性質カラ見テモ、又助ケナケレバナラヌト云フ目的カラシテモ、少シ見當違デハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデス、マア議論ダト仰シヤルケレドモ、私ハサウ信ジテ居ル、ソコデ、スナ、私ハ斯ウ云フ事モ考ヘテ見タ、是ハ主計局ノ方ニ其前ニ御伺ヲ致シマスガ、昭和九年度ノ自然増收ノ金ハ大體私ハ八千萬圓内外位ダト思ツテ居リマスガ、其數字ニ付テハ如何デゴザイマスカ

○賀屋政府委員 只今ノ所、昭和九年度ノ自然増收ノ數字ニ付テハ、申上ゲルヤウナ見込ガ立ツテ居リマセヌ

○中村委員 今主計局長ハ嘘ヲ言ハレタ(笑聲)本當ハ分ツテ居ル、ソレダケレドモ、餘リ金額ガ大キイモノダカラ、遠慮サレタノダラウ(笑聲)ソレハチヤント御計算濟ミニナツテ居ル筈、大體八千萬圓、此自然増收ノ餘リ多過ギタガ善イカ惡イカハ別問題トシマシテ、昭和九年度ハ、三月末迄ノ推算額デスカラ、丁度デケト是ハ請合フ譯ニ行キマセヌケレドモ、モット私ハ出テ來ハセヌカト思ツテ居ル、私ノ推測デ云ヘバ、大體八千萬圓、九千萬圓位ノ自然増收ニハナ

ル、サウナッテ來マスト、茲ニ少クトモ八千萬圓ト云フ一ツノ財源ヲ考ヘルコトガ出來ル、勿論是ハ赤字公債ノ方ニ廻シテ、成ベク赤字公債ヲ減シテ行クト云フコトガ、建

前トシテハ常道、ソレガ當リ前ナンデス、私ハソレニ異議ガナイ、異議ガナイノデアリマスケレドモ、普通ノ年ノ豫算、財政ノ建前ト、今日ノヤウナ非常ノ時局、殊ニ農

村ノ負擔ノ狀態ガ、毎年斯ウ云フ狀態ニナッテ來テ居ルト云フ所ヲ考ヘタ場合ニ於テハ、是ハ普通ノ常道のノ財政ノ歩ミ方デハ

イカスデハナイカ、隨テ茲ニ財源ガナイ、財源ガナイト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、赤字公債ノ方ニ之ヲ廻ハスノハ常道デ

アルケレドモ、斯ウ云フ時ニハ一歩進ンデ、權道ヲヤル、是ハ高橋大藏大臣モ常ニ言ハレテ居ルノデ、非常特別ノ場合ニ於テハ、

常道バカリニハ頼ラレヌ、今日ノ國防軍費ハ殆ド赤字公債ニ依ッテ賄ハレテ居ルト云フコトハ周知ノ事實デアル、サウデアアルナ

ラバ、此九年度ハ、一億何千萬圓ト言フ人モアルノデアリマスガ、少クトモ八千萬圓ノ自然増収ハ確實デアル、サウデアアリマシ

タナラバ、之ヲ使フコトニ依ッテ、兎ニ角コト一箇年位ノ繋ギヲツケルコトガ出來ハセヌカ、サウ云フ方法モ考ヘ得ルノデハナイ

カ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、大藏大臣ノ御考ハ如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 政府ハ應急ノ手當トシテハ出來ルダケノコトヲスルト、總理大臣モ言ハレテ居ルノデスカラ、今何モ金高ヲ決

メル必要モナイデヤナイデスカ

○中村委員 決メルノデヤアリマセヌ、ソレカラ出スノデス

○高橋國務大臣 ソレカラ出スコトハ、政府ニ任シテ宜イデヤアリマセヌカ(笑聲)

○中村委員 ソレデハ政府ニ御任セシテ置キマスカラ、ドウゾ一ツ成ベク多ク早く御出シ下サランコトヲ御願致シマス、大藏大

臣ト總理大臣ニ御尋致シマス事ハソレダケニシテ、其次ニ今度ハ少シ小サナ問題デ、

利得稅ノ本質ノ問題ニナリマスガ、非常ニ簡單デスケレドモ御尋ヲ致シマス、戰時利

得稅ノ時ニハ、利得稅ノ對象トシテ、一時ノ利得ニ課稅シテ居ラレル、鑛山デアルト

カ、或ハ船舶デアルトカ云フヤウナ、一時ノ利得、今度モ鑛山熱ハ相當ニ盛デアリ、

又鑛山デハ賣却金ガ相當ニ大キナモノガアル、殊ニ鑛山會社ニ出資ラシテ、サウシテ

資本金ニ充當スルト云フヤウナ相當纏マッタモノモアルヤウニ思フノデスガ、之ヲ除

外セラレタノハ、一時的ノ所得、而モ此好

景氣ニ惠マレタルモノニ課稅スルノガ、利得稅ノ本質デアルト云フ建前カラ考ヘテ、

是ハ遺憾ノヤウニ思フノデスガ、ドウデスカ

○石渡政府委員 洵ニ御尤ナ御質問デアリマシテ、其點ニ付キマシテハ十分考究致シ

テ見タノデゴザイマスガ、ドウモ今日船舶ハ先ヅ問題ハナイト思フノデゴザイマス

ガ、鑛山ト云フモノガ、果シテドノ程度ノ賣買ノ開キガアルモノカ、一應研究ハ致シ

テ見ルノデゴザイマスガ、大正七八年ノ當時ト今日ト比較スル譯ニ行キマセヌヤウナ

次第デアリマスノデ、今日課稅スルノ必要ハアルマイト思ヒマシテ、之ヲ除外致シマシタ

○中村委員 船舶ハ大正七八年頃トハ違フカモ知レマセヌガ、鑛山ニ付テハ寧ロソレ

以上デハナイカト思フ、例ノ金ノ價格ノ騰ッ

タヤウナ所カラシマスレバ、利得稅、所謂時局ノ影響ヲ受ケタト云フモノ、鑛山ノ

如キハ眞先ニ行ッデ宜イモノデヤナイカ、殊ニ不時ノ所得ニ對シテ課稅ラシナイト云フ

コトハ、所得稅ニ於キマシテモ、或ハ一ツノ缺陷デアッタカモ知レナイ、斯ウ云フ風

ナ大口ノ、非常ニ纏ッタ金ノ儲ケト云フモノニ付テハ、所得稅ニ於キマシテモ課稅スル

ト云フコトニ行クノガ當リ前デヤナイカ、況ヤ時局ノ影響ヲ受ケタモノニ課稅スルト云フ利得稅ノ精神カラ行クナラバ、課稅スル

ノハ當リ前デヤナカッタラウカト思フ、ソレハ意見ノ相違デスカラ其位ニシテ置キマス

最後ニ私ハ一ツ斯ウ云フ事ヲ御伺シテ見タイ、ソレハ斯ウ云フ事デス、此利得稅ハ

七分以上ノ利益ガアレバ全部取ル、若シモ既往年度ノ所得ガ七分以上デアッタナラバ、

其七分以上ダケハマケテヤル、此處ニ此間カラノ此委員會ノ質問應答ノ、而モ負擔ノ

不均衡ト云フ議論ガ集中サレテ來テ居ル、確ニ私モ其缺點ガ此處ニ在ルト思フ、併シ

昭和五六年以後儲カッタモノニ對シテ課稅スルノガ目的ダト政府ノ言ハレル所ニモ一

理ガアル、昭和五六年ヲキッカケトシテ、其後ニ儲カッタモノニ課稅スルノダカラ、今

モ儲カッタ居リ、其時モ儲カッタモノハ何モ取ラヌデ宜イデヤナイカ、理窟ハサウ付ク、

サウ考ヘルコトモ或ハ已ムヲ得ナイカト思ヒマスガ、併シ此處デ其非難ヲ緩和スル方

法ガアルト思フ、ソレハドウ云フコトデア

ルカト云フト、所謂新設會社デ、其當時七分以下ノ儲ケシカナカッタモノハ、總括シテ

考ヘテ見テ、負擔ノ能力ハ弱イト言ハナケレバナラヌ、其當時ニ割モ儲カッテ居ッタ、

一割五分儲カテ居ツタ、今モソシナニ儲カテ居ルト云フモノハ、其負擔力ハ強イト言ハナケレバナラヌ、其負擔力ガ違フ、其違フ所ニ同ジ一〇%ノ稅率ヲ適用シテ行カウト云フ所ニ、益、以テ負擔ノ均衡ヲ案ツテ居ルト云フ結果ニナツテ居ル、ソコヲ六七七年ト云フモノヲ基準ニ取ツテ、ソレカラ儲カテ居ルモノニ課稅スルノダト云フ政府ノ建前ヲ立テ、サウシテ不權衡ヲ成ベク緩和シテ行カウト云フコトノ爲ニハ、茲ニ稅率ニ於テ加減ヲスルト云フコトガ極メテ適切デハナイカト考ヘル、或ハ七分以下ノ儲ケシカ昭和五十六年度ニナカタヤウナモノハ、負擔力ガ弱イノダカラシテ、之ニ對シテハ利得稅ノ稅率ヲ安クシテ、ソレカラ七分以上、或ハ一割以上トカ、二割以上ト云フヤウナ儲ケガ、既往年度ニ於テモアッタト云フモノデアルナラバ、是ハ負擔力ハ強イ、而モソレヲ二割金額ヲ引イタノデスカラ、利得金額ニ於テモ少クナツテ居ル、益、以テ負擔力ガ多イ、多イノデアルカラシテ、之ニ對シテハ一割トカ、一割五分ト云フ稅率ヲ適用シテ行ク、是ガ私ハ頗ル合理的デアルト思フ、政府ノ御考ニナツテ居ル所ノ五十六年度以後ニ於テ儲ケタモノニ對シテ課稅ヲスルト云フ趣旨ハ、是ハ諒ト致シマ

スガ、茲ニ負擔力ノ査定ノ上ニ於テ階段ヲ設ケル、サウスレバ此間カラ喧々囂々トシテ攻撃サレテ居ル所ノ負擔不權衡ノ問題モ、餘程緩和シ得ルモノデハナイカト思フノデアリマスガ、政府ノ御考ハ如何デアリマスカ

○石渡政府委員

中村サンノ御考トドウモ先程申上ゲテ居ル所ト少シ喰違フ所ガアルト思フノデアリマスガ、中村サンノ御考ハ矢張普通ノ所得稅ト云フコトヲ深く御考ヘ下サツテ、サウシテ儲ケノ多イモノガ少イ負擔ヲスル、詰リ資本金ニ對シテ八分ニシカ利廻ガ當ラヌモノガ本稅ヲ負擔スル、サウシテ一割五分モ儲カテ居ルモノハ負擔シナイト云フ點ガラカシイデヤナイカト云フ所カラ、出發シテ居ラレルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ私ハ如何ニモ一國ノ稅制ト致シマシテ、所得ノ大キナモノ、或ハ儲ケ率ノ大キナモノガ重キ負擔ヲスルト云フコトハ、所得稅法デアルベキモノデアルト云フコトガ根本デアツテ、普通ノ狀態ニ於キマスル一ツノ稅制ト致シマシテハ、私ハ尤ナシテ別ニ中村サンノ御説ニ對シテ、私議論申上ゲヤウトスル譯デハアリマセヌガ、今度ノ此臨時利得稅ハ増差額、増差額ト云

フモノ、大キサニ依テ課稅致シテ行カウ、斯ウ云フ法デアリマスノデ、隨テ其増差額ノ大キナモノハ、其割合ニ負擔ヲスル、増差額ノ少イモノハ負擔ガ少クテ済ム、又ハ増差額ノナイモノハ負擔シナイ、斯ウ云フコトデアリマスノデ、此税金ノ建前カラ行キマスレバ、何處マデモ増差額ヲ見テ行クベキモノデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ只今仰シヤルヤウナ普通ノ儲ケノ割合ノ多イモノニ付テ餘計負擔ヲシロ、斯ウ云フコトハ、是ハ普通ノ所得稅ノ問題デアリマシテ、此問題トハ別ニ考ヘルベキ點デハナカラウカト存ジテ居ルノデアリマス

○中村委員

今ノ御答辯デハ私ハ満足スル譯ニハ行カヌノデス、ソレハ所得稅法ニ於テ負擔ノ均衡ヲ多少取ツデアルカラト云フ意味モ含マレテ居ツタヤウデアリマスガ、此利得稅モ是ハ税金デアルト私ハ信ジテ疑ハヌ、是ハ引ツタクリ式ニ金ヲ取ルノデハナイカラシテ、矢張負擔力ト云フモノハ、何時如何ナル場合ト雖モ、私ハ考ヘテ行カナケレバナラヌモノデハナカラウカト思フ、是ハ租稅ノ信條デアル、根本ノ原則ハ負擔ノ公正、負擔力ニ應ズルト云フ、所謂應能

提供ト云フモノガ租稅ノ根本觀念デナクチヤナラヌ、然ルニ二割モ三割モ元儲ケテ居ルモノヲ引イテヤル、利得稅ノ組立ヲサウスル、昭和五十六年ヲ基準トスルカラ已ムヲ得ナイト云フノナラバ、ソレデハ負擔力ハドウカト云フコトヲモウ一遍檢討スル必要ガアル、ソレダケヲ引イテシマフト、利得稅ハ少シバカリニナツテシマフ、其殘デ居ル利得稅ト、ソレカラ七分ヲ超過シテ、漸ク一割ノ配當モ出來ヨウカト云フモノヲ比較シタモノトハ、ソレハ矢張七分ヲ僅ニ超過スルモノヨリモ、二割三割儲ケヲ豫メヤツテ來テ居ル者ノ方ガ強イト言ハナケレバナラヌ、是ハ所得稅ニ限ラズ、何稅デモサウ行クノガ租稅本來ノ使命デハナイカ、ソレデアルカラ今ノ石渡サンノ御考カラ行クト、所得稅デ其點ハ或ル程度ヤツテ居ル、今度ノ利得稅デハ何モ構ハズ増額ダケヲ取ルノダト云フヤウニナルト思ヒマスガ……

○石渡政府委員

中村サンノ仰シヤル點ハ、是ハ私共ノ考ヘテ居リマス所ト可ナリ喰違ッテ居ルト思フノデアリマス、所得ノ大小ニ依ツテ取ル、又普通ノ場合ニ於テ利廻ノ高イモノカラ取ル、是ハ普通ノ所得稅デアリマシテ、ソレトハ全然趣ヲ異ニ致シマシテ、今度ノ此稅ノ負擔力ハ、要スルニ利益ガ増加シタ、其増差額ト云フ所ニ今回ハ租

税ノ擔稅力ヲ認メテ居ルノデアリマス、隨テ増差額ノ大小ト云フモノガ擔稅力ニナツテ居リマス、是モ普通ノ場合ニ於キマスル所得ノ大小ニ依ル所ノ擔稅力ト、又別個ニ茲ニ一ツノ擔稅力ガアルト思フノデアリマス、カルガ故ニ戰時利得稅法ニ於キマスル法制ト同様ニ、今回モ此増差額ト云フモノヲ根據ト致シマシテ、本稅ヲ立案致シタ次第デアリマシテ、此點ハ斯ウ云フ増加稅ト云フモノニ於キマシテハ、其事ガ財産増加稅デアラウガ、外ノ増加稅デアラウガ、總テ此増差額デヤラザルヲ得スト斯ウ思フノデゴザイマス

○中村委員 増差額ヲ課稅標準ニ採ルト云フコトニ對シテハ御說ノ通り、ソレハ色々議論モアルケレドモ、元ハ二割儲ケテ居、タモノ、或ハ五分シカ儲カラヌモノ、茲ニ不均衡ガアルノデハナйкаト云フ議論モアルケレドモ、ソレハ増差額ヲ課稅標準トシテ宜イト云フコトニナツデモ、モウ一遍此處デ檢討スル必要ガアルノデハナйкаト斯ウ言フノデアル、所謂漸ク七分ヲ超過シテ居ル所ノ利得ト、二割モ超過シテ居ル所ノ利得トデハ、ソレハ擔稅力ガ違フデヤナйка、斯ウ云フコトデアリマスカラ、私ノ主張ハ御諒解ニナツテ居ルノグラウト思フ、併シソレ

ハ一ツ御再考ヲ願フコトニシテ、モウ一ツ他ノ問題ヲ聽キマス、昭和五六年以後ニ、或ハ又本法ガ施行サレタ後ニ増資ヲスルト云フコトハ、相當考慮シナケレバナラス、増資ニ次グニ増資ヲ以テシタナラバ、利得稅ト云フモノハナクナツデシマフ、ソコデ之ニ對シテ本法ノ規定ハ何モ取締的ノ協定ガナイガ、此處デ私ハ取締的ノ規定ヲ設ケテ、國民ヲ泥棒扱ニシロト言フノデアリマセヌケレドモ、本法施行後増資ヲスルモノニ付テハ、既往年度ノ平均利益ノ如何ヲ問ハズ、ソレガ二割デアラウガ、三割デアラウガ、過去ノ事業年度ノ利益歩合ガドウナツテ居ラウガ、一律ニ七分シカ引イテヤラス、斯ウ云フコトニスルコトガ、新設會社トノ比較カラ考ヘテモ、權衡カラ考ヘテモ、サウナルノガ當リ前デアリ、又一面ニ於テ脫稅ヲ防止スル力モ兼ネ備ヘルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、即チ此増資デモシテ、脫稅デモシヨウト云フモノハ、必ズヤ過去ニ於テ利益ガ多カッタモノニ限ル、過去ニ於テ二割トカ、一割、或ハ一割五分ト云フ相當大キイ利益ヲ擧ゲテ居ッタ者ガ、此増資々々ト云フコトニ依ッテ、利得稅ノ輕減ヲ圖ルデアラウコトハ、想像ニ難クナイ、サウデアリマスルナラバ、今

ノ現行規定デ行キマス、過去ノ事業年度ノ利益歩合ダケ引イテヤルト云フコトニナツテ、即チ元ノ利益ガ二割デアルナラバ、今度ノ新増加ノ資本ニ對シテモ二割引イテヤル、ソコニ矛盾ガアル、ソレダカラ今度ハ二割ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ルカラ、盛ニ増資ヲシテ行クト云フ結果ニナル、ダカラソレヲ改メテ、新設會社ニ對シテハ七分シカ引イテヤラスノダ、新シク増加拂込ヲシタ所ノモノハ、一種ノ新シイ會社ト見テ七分シカ引イテヤラス、是ハサウ申シマス

ト脫稅ノ防止ト云フ建前カラ考ヘマシテモ、新設會社トノ負擔ノ權衡問題カラ考ヘマシテモ、サウスルノガ極メテ妥當ダト考ヘマスガ、如何デスカ

○石渡政府委員 増資ノ資本金額ニ相當スルモノニ對シテハ、ソレノ七分程度ニ其利益ヲ見テ行ッタラドウカト云フコトハ、先般小笠原委員ノ御質問ニ對シテモ御答致シタノデアリマスルガ、一應ノ理由ハアルト思フノデゴザイマス、併ナガラ是ハ實行上相當煩雜ナコトデアリマスシ、又本稅ノ稅率ハ、比較的此種ノ稅率ト致シマシテハ低イ稅率デアリマス、負擔モ左程重クモナイノデアリマスシ、ソレニ短期間施行サレル租稅デアリマス、此前ノ戰時利得稅ノ實行ノ經驗カラ致シマシテモ、左マデ其弊害ヲ感ジナカッタノデゴザイマスルカラ、脫稅ノ爲ニ——脫稅ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、税金ヲ輕減スル爲ニ、故意ニ増資ヲスル者モ先ヅナカラウト、斯ウ云フ考ノ下ニ、此規定ヲ此前ノ戰時利得稅法ト同様ニ設ケナカッタ次第デゴザイマス、仰シヤルコトハ一應ノ理由アル御主張ダトハ思フノデアリマスガ、色々事情ヲ考ヘマシテ、此條項ハ之ヲ置カナカッタ次第デゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○中村委員 今石渡サンノ御話ニ、此種ノ稅率トシテハ餘リ高クモナイ、隨テ又脫稅スル者ハ少カラウト云フコトデスガ、サウアルコトヲ私共モ衷心カラ冀フノデアリマス、元ハ超過所得ハ戰時所得稅當時ニハナカッタ、今度ハ超過所得ト云フモノガ後ニ控ヘテ居ル、ソレモ資本ガ大キクナレバ今日ノ狀態デハ負擔ガ輕クナツデ、増資ニ依、テ二重ノ作用ヲスル、戰時利得稅ノ當時ニハ、戰時利得稅ダケハ、増資ヲスレバ免レルコトガ出來タガ、一般ノ所得稅ハソレガ爲ニ別ニ免レルト云フコトハナカッタ、所ガ今度ノ稅法ハ超過所得ト云フモノガアッテ、資本ヲ元トシテ税金ヲ課シテ居ル、今度ハ臨時利得稅ガ起ッテ來テ、又資本ヲ元トシテ税金

ヲ課ケテ居ルカラ、資本ガ増大スレバ兩方ノ輕減ヲ圖ルコトガ非常ニ易ク出來ル結果ニナル、ソレデ増資ニ依ッテ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フコトハ、矢張相當考慮シナケレバナラスト思フ、同時ニ稅率ハ一割デスケレドモ、此超過所得ヲ以テ、即チ増資デモシヨウト云フ者ハ超過所得ノ課ルモノニ限ル、其人ノ負擔ヲ考ヘテ見ルト云フト、普通ハ所得ガ五分課ッテ、其外ニ三割、超過デモアレバ二割五分デス、ソレニ此一割ガ課ッテ、ソレニ附加稅ガ課ルト、平均四割ノ稅金ガ取ラレル勘定ニナルカラ、臨時利得稅ダケガ一割ダカラ、此種ノ稅金トシテハ安イト云フ御安心ハ私ハドウカト思ヒマスガ、如何デスカ

○石渡政府委員 中村サンノ御心配ノ點ニ付キマシテ、一應御答致シタイト思ヒマス、超過所得ノ今日ノ最高ノ稅率ガ百分ノ二十デアリマシテ、超過所得稅ノ最高稅率ハ、本稅ノ倍デアリマス、ケレドモ、是ハ課ケ方ハ大分變ッテ居リマスガ、三割超過ノ金額ニ對シマシテハ百分ノ二十デアリマス、ソレニ附加稅ノ賦課モ餘計課リマスノデ、ソレカラ考ヘテ行キマスレバ、本稅ノ負擔ハ遙ニ低イノデアリマシテ、今日超過所得稅ノ場合ニ於キマシテ、ソレデハ此點

ヲ考慮シテ相當脫稅ガアルカト申シマスレバ、ドウモサウ云フ傾向モ見ラレナイノデアリマスカラ、隨ヒマシテ現行ノ超過所得ノ最高ノ稅率ヨリ、遙ニ負擔ノ低イ所ノ本稅ニナリマシテ、格別サウ脫稅ノ行ハレルモノトハ實ハ私ハ考ヘテ居ラナイ次第デゴザイマス、尙ホモウ一言申上ゲタイト思ヒマスルコトハ、若シ此會社ガ同族會社デアリマシテ、不當ナル増資ヲ致ス、詰リ不實ナル増資ヲ致スト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、之ヲ適當ニ處理致シタイト思ヒマシテ、其方ノ條文ハ入レテゴザイマス

○中村委員 私モ國民ガ無暗ニ脫稅ヲスルト云フ風ニハ考ヘタクナイノデアリマス、隨テ脫稅防止ト云フヤウナコトヲ私ハ言ヒマシタガ、サウ云フ虞ガアルノト、ソレカラ新設會社ニ對シテハ七分シカ引イテヤライナカラ、ダカラ新シク本稅施行後ニ増資シタル資本金ハ一種ノ新店ト、斯ウ云フ風ニ見テ宜イノデヤナイカ、其權衡上カラモ、七分トスルノガ當リ前デヤナカラウカ、私ハ斯ウ云フ二ツノ方面カラ、サウ云フ建前ガ宜イノデヤナイカ、斯ウ聽イテ居ルノデアリマスガ、ドウデスカ、新設會社トノ權衡カラシテモ、七分トスルノガ宜イト思フノデアリマスガ、ドウデスカ

○石渡政府委員 理窟トシテハ、仰シヤル所ハ確ニ一ツノ理窟ダト思ヒマス、思ヒマスガ、是ハ實際上御考下サッデモ御分リデアラウト思フノデアリマスガ、會社ガ利益ヲ積立金トシテ後期ニ繰越サレマスノデ、ソレヲ一々皆區分致シマシテ、利廻ヲ見テ來ルト云フコトモ、實際問題トシテハ容易デナカラウト思フノデゴザイマス、ソレデ先ヅ大體ニ於キマシテハ、其會社ガ一定ノ利廻ガ從前ノ利廻ニ一致シテ來ル程度ニ増資ヲシテ行クト云フノガ、先ヅ普通ノ狀態デナカラウト思ハレマスガ、此點ハ此前ノ戰時利得稅ニ倣ヒマシタヤウナ次第デアリマス

○中村委員 モウ餘リ諄々シク繰返シマセヌガ、今ノ石渡サンノ御話ノ中ニ、増資ヲスル場合ニ積立金ヲドウ斯ウト云フコトガアリマシタガ、ソレハ積立金ヲ崩シテ増資シタ所ガ何ニモナラナイ、ソレハ矢張新シク拂込ンデ來ナケレバ増加ニハナラナイ、積立金ト云フ名前ガ資本金ニ變ッテ來タダケデ、本當ノ資本ノ増加ニナラナイカラ、積立金ヲ増資ニ當テタモノト區別シテ、實行上困難ダト言ハレマスガ、其心配ハ要ラナイ、新シク入込ンデ來タモノニ付テダケノ問題デアル、ダカラソレハ七分トシテ計

算スルト、一番簡單デ宜イノデスガ、二割三分トカ、五割五分モアッテ、別々ニサウ會社毎ニ計算スルヨリモ、皆新增加ノモノハ七分デ行ケバ仕事ノ方ハ却テ簡單デアル、實行上ハ其方ガ却テ可能デアル、サウ云フ點ガアルカラ、此點ハ御考ヲ願ヒタイト思フ

最後ニ一ツ、是ハ理窟ノ問題デハアリマセヌガ、近頃ノ稅務署邊リデ能クヤッテ居ルコトデ私ガドウモ面白クナイト思フ事柄ガアリマス、是ハ單リ利得稅ニ關スル問題バカリデアリマセヌ、所得稅ニ付テモ盛ニ氣違ガ雜刀ヲ持ッタヤウナ恰好デ振廻シテ居ルコトガアル、ソレハ丁度繰越欠損ト云フモノハ今期欠損ト認メナイト云フコトヲ、勅令事項デ御作りニナッタ、ソレガ淵源ヲ成シテ居ッテ、所謂實質上欠損、或ハ欠損ニ近イト云フヤウナモノヲ、資産勘定ナドデ繰延バシテ來テ居ル場合、ソレヲ不良債券ノ切落シトカ、有價證券ノ値下リ等ヲヤルト、ソレハズット前ニ不良ニナッテ居ルデヤナイカ、有價證券ノ値下リハ前ニ値下リニナッテ居ルノデヤナイカ、隨テ今期ノ損ダトハ認メナイ、ソレナラバ何時ノ損カト言フト、ソレハ兎ニ角大正十五年以前ノ損ダト云フコトヲ言ウテ、サウシテ不良債券、

或ハ有價證券ノ評價減ト云フコトヲ認メナイデ、税金ヲドン／＼ト取ル、利得税ガ起ツテ來ルト、此問題ガ又餘計ニ社會ノ問題ニナルノデヤナイカト思フ、私ガ知ツテ居ルモノダケデモ一ツヤニツダケデハナイ、アッチコッチニ被害者ガ多イ、是ハ裁判ニナツテ居ルモノモアルシイガ、是ハドウ云フモノデセウカ、有價證券ノ評價ヤ不良債券ヲ何時振落スカト云フヤウナコトハ、是ハ會社當事者ノ主觀ニ委シテ置ケバ宜イデヤナイカ、ソレヲ稅務署カラ行ッテ、是ハ疾ウノ昔ニ缺損ニシテ置カナケレバナラヌデヤナイカト言フヤウナコトハ、是ハ謂ハハ少シ出過ギルト云フヤウナコトニナルノデヤナイカト、斯ウ思フガ、大藏省ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○石渡政府委員 中村サンノ御尋ノ不良資産ノ切下、竝ニ有價證券ノ評價減、此問題ニ付キマシテ大體會社ノ主觀ニ委シタラドウダト云フ御意見ハ私モ御尤ダト思フノデアリマス、先ヅ大體論ト致シマシテハ、會社ノ主觀ニ委セルノガ本當ダト思ヒマスガ、場合ニ依リマシテ不當ダト思ハレル場合——其會社ノ資産カラシテ不當ダト思ハレルヤウナ場合ガアルヤウニモ思ヒマス、是ハ主トシテ同族會社ノ關係ダト思フノデアリ

マス、普通ノ會社ニ於キマシテハ洵ニアナタノ仰シヤル通りノ方針ガ大體ノ方針トシテハ宜カラウト、斯ウ存ジテ居リマス

日ハ國務大臣出席ノ都合ガアリマスノデ、午後一時ヨリ開會致シマス、左様御諒承願ヒマス、是ニテ散會

午後五時六分散會

○岡田委員長 ソレデハ一寸私ガ申上ゲマスガ、今マデハ議案全體ニ付テノ御質問ガアツタノデス、明日龜井君ノ御質問ガ濟ミマスト云フト、一應全部濟ムノデス、尤モ留保ハアリマスガ、大體濟ミマス、ソレデ龜井君ノガ濟ミマシタラバ、斯ウ云フヤウニ審查ヲ進メタイト思フノデス、即チ初ノ所謂赤字公債ニ關スル法律案ト、此臨時利得稅法案ト日本銀行納付金法中改正法律案ト、是ダケヲマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ、後廻シニ致シマシテ、其餘ノ議案、即チ國際文

〔岡田委員長宣告參照〕

託保險其他會社個人等

化事業ニ關スル經費以下、造幣局ノ廳舎ノコトデアルトカ、東京高等農林學校ノ件トカ、日本銀行金買入法中改正法律案トカ、朝鮮臺灣銀行ノ改正法律案トカ、斯ウ云フモノヲズツト質問ニ移リマシテ、今ノ前ノ方

委員ヨリノ要求ニ係ル參考資料提出未濟調表

六、臨時利得稅法類似ノ外國立法例

ノ分ハ留保シテ置イテ、後ノ分ヲ質問ヲ全部終了シテ行クヤウニ進メテ行キタイト思ヒマス、隨テ政府ノマダ説明ノナイ分ハ、

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

八、現行所得稅營業收益稅關係法令其他ノ法令ニヨリ免稅セラル、事業種別

是ダケヲマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ、後廻シニ致シマシテ、其餘ノ議案、即チ國際文

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

九、右事業ヲ營ム會社ノ昭和四年乃至九年度上半期ノ各事業年度ニ於ケル資本金額

化事業ニ關スル經費以下、造幣局ノ廳舎ノコトデアルトカ、東京高等農林學校ノ件トカ、日本銀行金買入法中改正法律案トカ、朝鮮臺灣銀行ノ改正法律案トカ、斯ウ云フモノヲズツト質問ニ移リマシテ、今ノ前ノ方

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

十、陸軍及海軍ガ軍需品ヲ註文セル會社名

是ダケヲマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ、後廻シニ致シマシテ、其餘ノ議案、即チ國際文

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

十一、昭和五年以降各事業年度ニ於ケル軍需品製造會社ノ拂込資本金額積立金額、繰越金額、利益金額及配當金額

化事業ニ關スル經費以下、造幣局ノ廳舎ノコトデアルトカ、東京高等農林學校ノ件トカ、日本銀行金買入法中改正法律案トカ、朝鮮臺灣銀行ノ改正法律案トカ、斯ウ云フモノヲズツト質問ニ移リマシテ、今ノ前ノ方

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

十二、今度ノ臨時利得稅法案ニ依リ課稅サルベキ法人及個人ノ數

是ダケヲマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ、後廻シニ致シマシテ、其餘ノ議案、即チ國際文

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

之ヲ左記甲、乙、丙、丁ニ付テ欲シイノデス

化事業ニ關スル經費以下、造幣局ノ廳舎ノコトデアルトカ、東京高等農林學校ノ件トカ、日本銀行金買入法中改正法律案トカ、朝鮮臺灣銀行ノ改正法律案トカ、斯ウ云フモノヲズツト質問ニ移リマシテ、今ノ前ノ方

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

甲)重要商工業都市及地方別

是ダケヲマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ、後廻シニ致シマシテ、其餘ノ議案、即チ國際文

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

乙)東京、大阪、京都、神戸、福岡、横濱等ニ於テハ各區別

是ダケヲマダ質問ガ殘ッテ居リマスガ、後廻シニ致シマシテ、其餘ノ議案、即チ國際文

昭和五年乃至八年ノ各事業年度ニ於テ第一種所得稅ヲ課セル法人ヲ

丙)法人ニ於テハ、資本金一萬圓以上ノモノニ付キ左記標準ニ依リ業態別、社名ヲ

萬圓迄、四十萬圓以上五十萬圓迄同上

(三) 資本金五十萬圓以上ノ法人ニ於テハ

事業名及社名

(丁) 個人ニ於テハ各地方別營業種別ニシテ被課稅者ノ員數

十三、大正元年以降大正十二年迄ノ法人拂

込資本金額、積立金額、繰越金額ノ合計

ニ對スル收益率表、是ハ可ナリ面倒ト思

ヒマスガ、法人ノ業態別デ標準的ノモノ

ヲ取テ欲シイノデアリマス

十五、大正元年度以降昭和九年度迄ノ各年

度毎ノ法人ノ所得表

十七、臨時利得稅ノ課稅ヲ受ケヌ法人デ資

本金五十萬圓以上ノモノ、收益率表(昭和

和五、六年ト昭和九年ヲ比較セルモノ)

龜井君

一、稅務官吏ノ所得稅及營業收益稅調査ノ

理想的能率ノ程度、稅務官吏數、ソレカ

ラ現在ノ分擔程度ト能率トノ關係

二、理想的の調査方法デ現在ノ營業收益稅ノ

權衡調査ヨリモ實績調査ヲ主トシテヤル

ノニドレダケノ配置ヲオヤリニナレバ宜

シイカ其方法

三、過去ニ於ケル大都市ノ新設稅務署ノ創

設前後ノ稅額ノ統計的調査

中村君

一、昭和九年一月カラ十二月迄ニ決定シタ

ル法人ニ付テ臨時利得稅ノ見積ガ何ウナ

ルカ(九年一月カラ十二月迄ニ御決定ニ

ナッタ法人分ニ付テノ臨時利得稅個人ハ

九年分デ宜シイ)

二、稅率ヲ平均一割トシテ稅金ヲ出シテ居

ルガ其稅率ハ七分ヲ適用スルモノ、既往

年度ノ利廻ガ七分未満ノモノハ七分ヲ適

用スルトイフコトニナッテ居マスカラ七

分未満ノモノニ付テハ七分ヲ適用シ七分

以上一割マデノモノニツイテハ一割ヲ適

用シ、一割ヲ超過スルモノニ付テハ一割

五分ノ稅金ヲ取ル斯ウ云フコトニシテ稅

金ヲ計算スルト何ウイフ金額ニナルカ、

衆議院昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充
ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員
會議錄第十一回中正誤

頁 段 行 誤 正

一二 四 二四 一制 一割